

# 都心部の大規模都市公園における 滞留者の空間の使い分けに関する研究



緑地計画学 芦田 凌



# 研究の背景および目的

## 研究の背景

- ・近年、都心部では、社会の成熟化によるライフスタイルの多様化が急速に進んでいる。
- ・その中での暮らしやすさの実現には、個々の多様なライフスタイルを受け止める公園が重要な役割を担っている。
- ・公園では利用実態の多様化を考慮した空間のデザインが求められる。

## 研究の目的

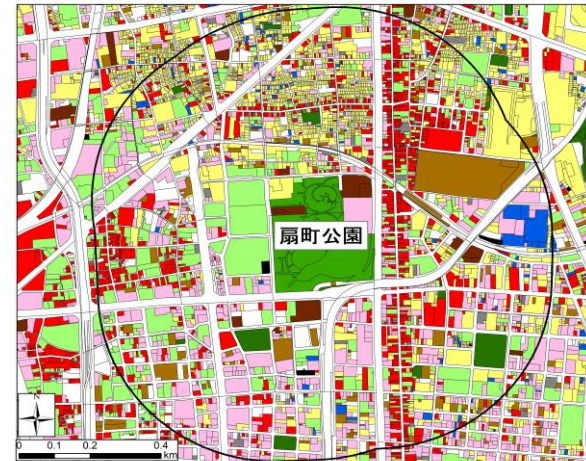
- ・都市公園での滞留利用実態を調査し、利用者による目的に応じた空間の使い分けの特性を明らかにする。



# 調査対象公園



韮公園東園の周辺500m圏内の建物用途現況



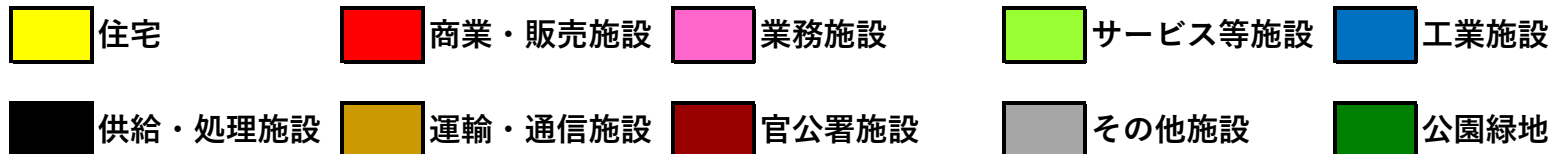
扇町公園の周辺500m圏内の建物用途現況

## ■ 韮公園（東園）

所在地 : 西区韮本町1丁目・2丁目  
開設 : 1955年  
2006年にバラ園の改修  
公園種別 : 総合公園  
総面積 : 約9.7ha (東園 約5.6ha)

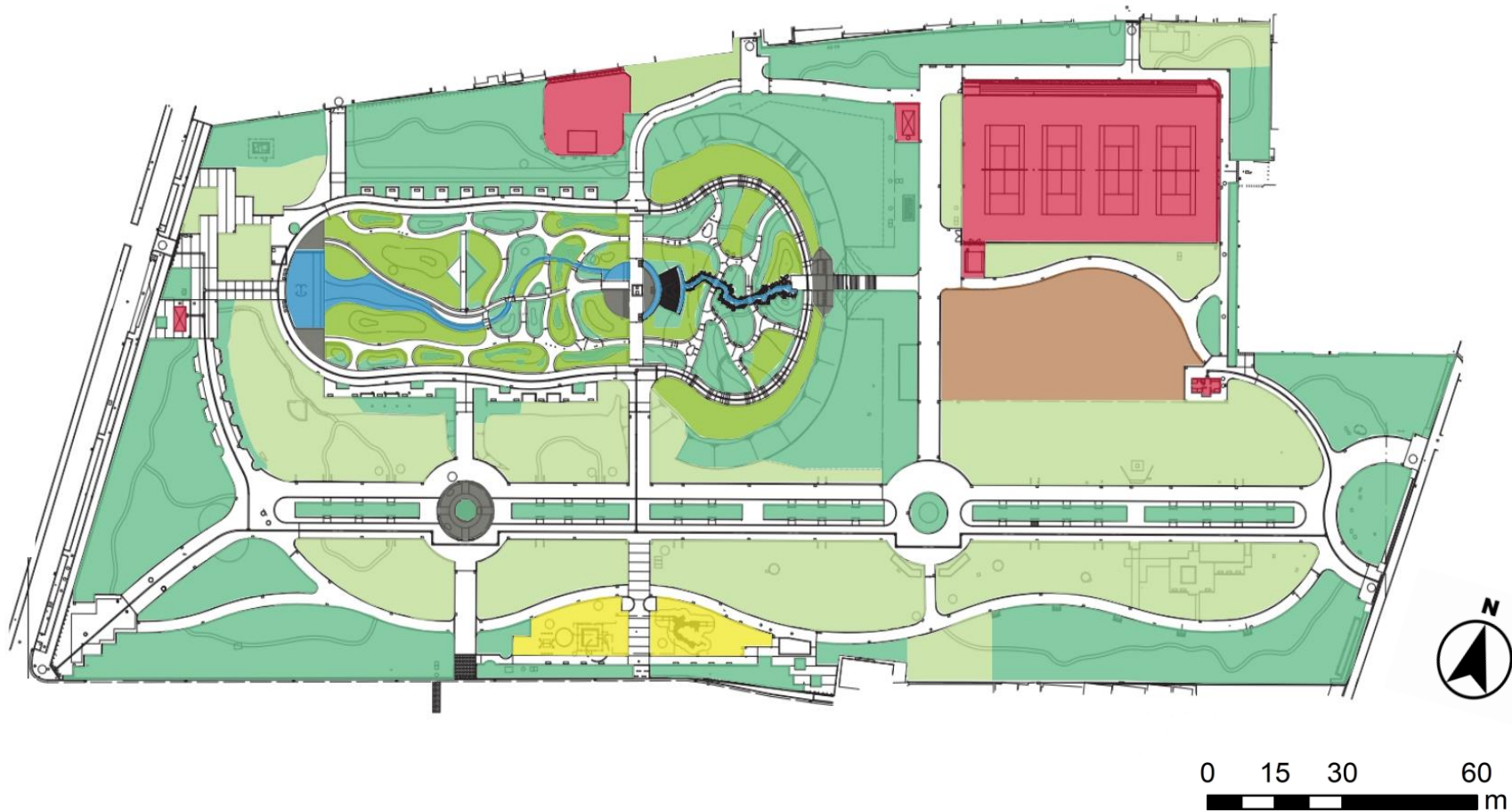
## ■ 扇町公園

所在地 : 北区扇町1丁目・2丁目  
開設 : 1923年  
2000年に再整備  
公園種別 : 地区公園  
総面積 : 約7.3ha

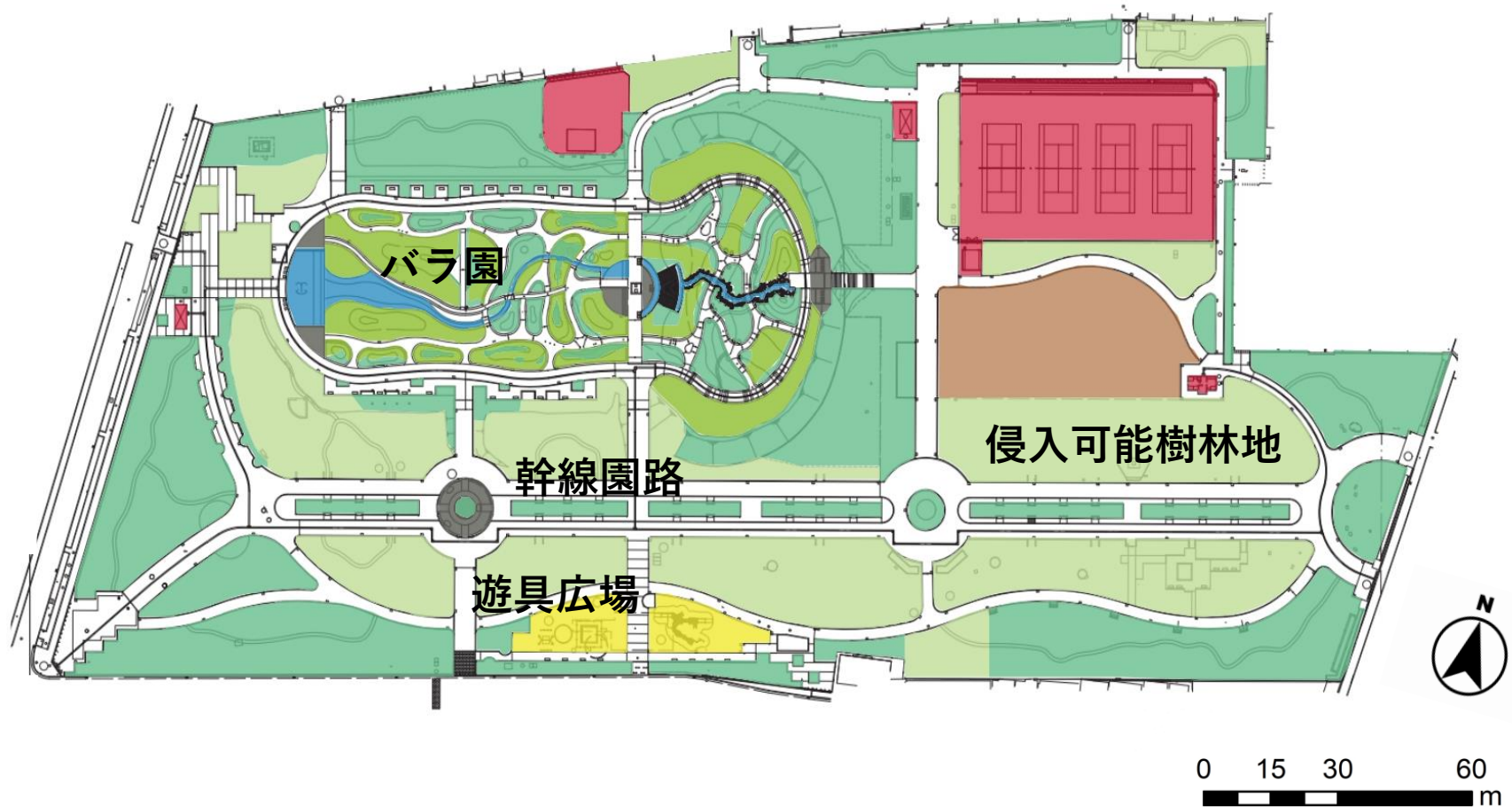




# 現況特性：韮公園の空間構成



# 現況特性：韮公園の空間構成

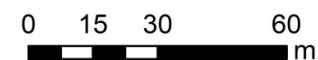


# 現況特性：扇町公園の空間構成





# 現況特性：扇町公園の空間構成



# 滞留利用実態：調査及び解析方法

**調査方法**：Survey123 for ArcGISを用いたルートセンサス調査

**調査日時**：2020年10月の平日、休日それぞれ2日ずつ

7:30、10:00、12:30、15:00、17:30の5時間帯

**調査項目**：〈滞留グループ属性〉

- ・性別（男性/女性/混合）
- ・滞留人数（1人/2人/3,4人/5～9人/10人以上）
- ・年齢層（幼年層/若年層/成年層/壮年層/老年層/混合）
- ・グループ特性（1人/友達/カップル・夫婦/親子・家族 等）

〈滞留行動特性〉

- ・滞留姿勢（立つ/座る/混合）
- ・着座設備（ベンチ/地べた/縁石・景石/その他/座っていない）
- ・行為・行動（休憩/読書/会話/飲食/遊び/スポーツ・体操 等）
- ・行為・行動を支える要素（敷物/イス/テント/運動用具 等）

## 解析方法

単純集計

平日・休日別

時間帯別



クロス集計

行為・行動別のグループ特性

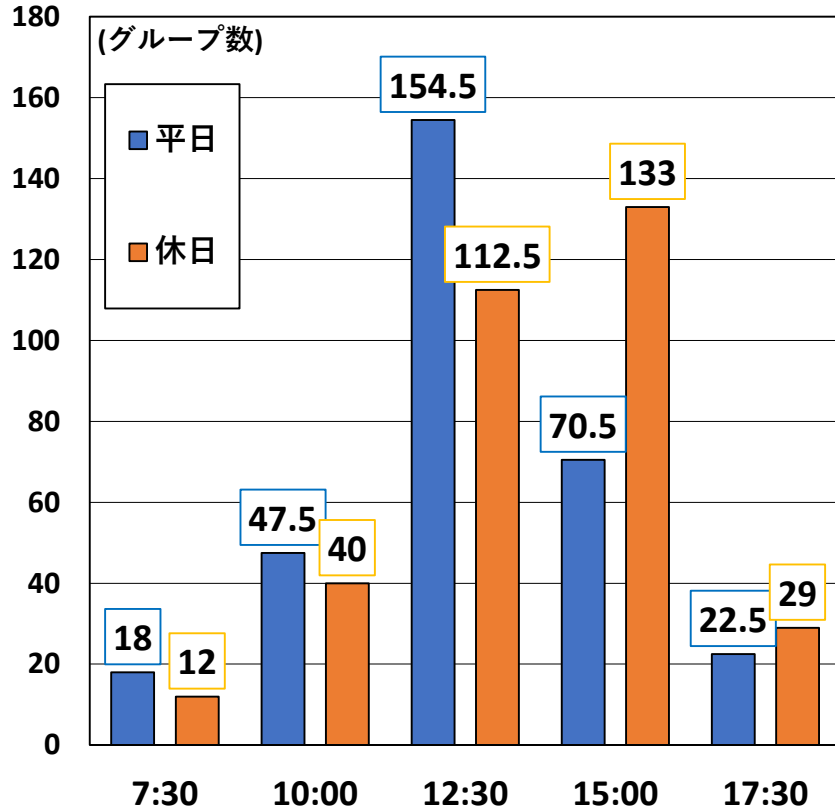
園路型・エリア型別の行為・行動

行為・行動を支える要素の有無別の行為・行動

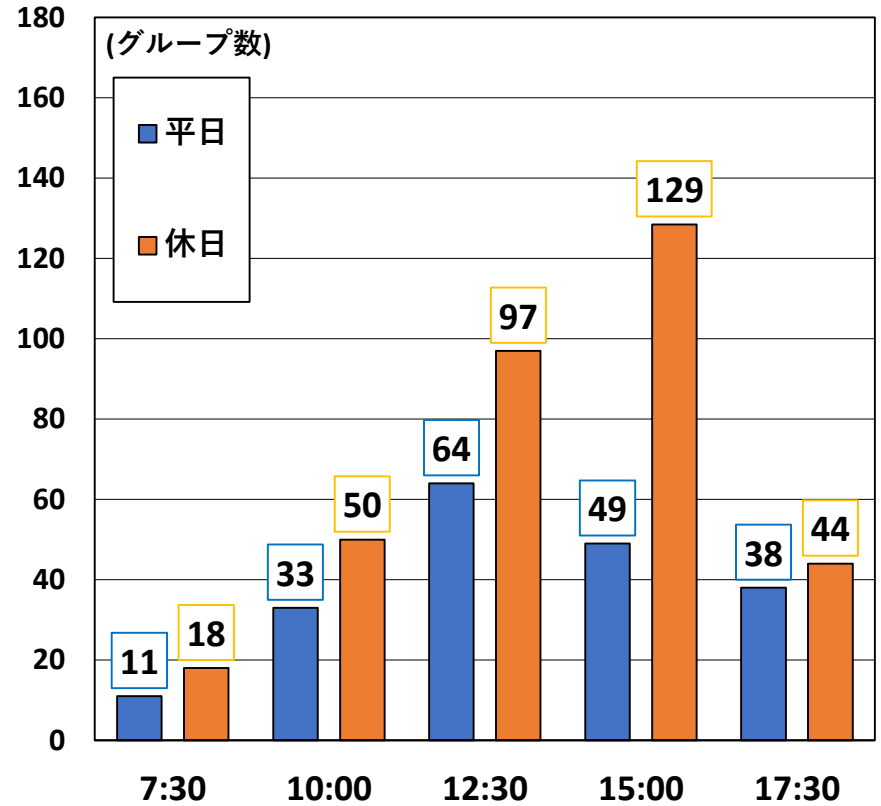


# 滞留利用実態：平日・休日、時間帯別滞留グループ数

## 韮公園

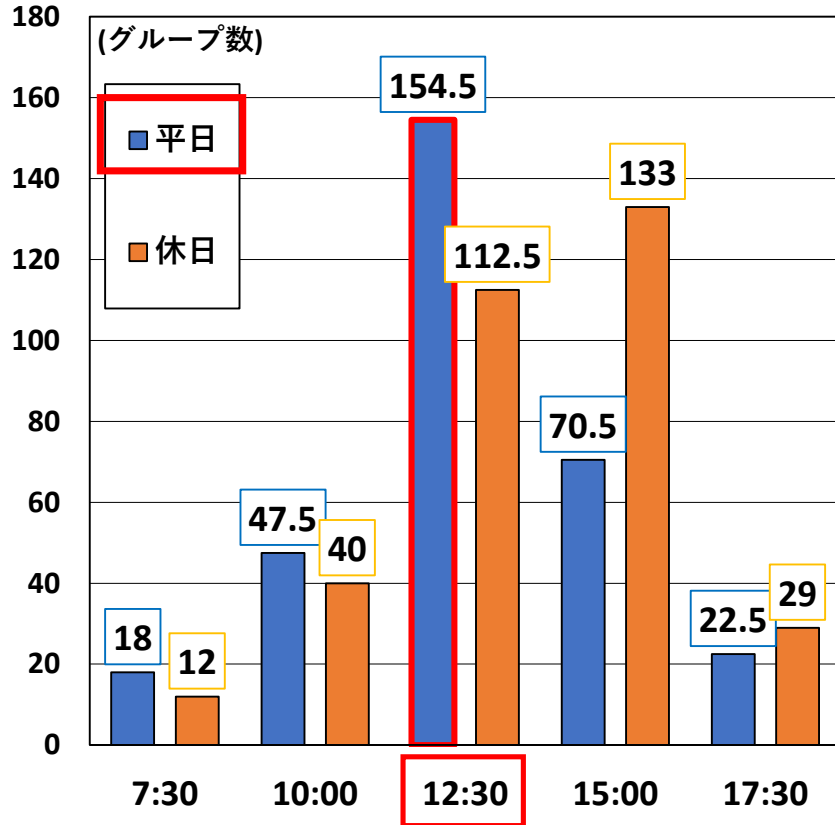


## 扇町公園

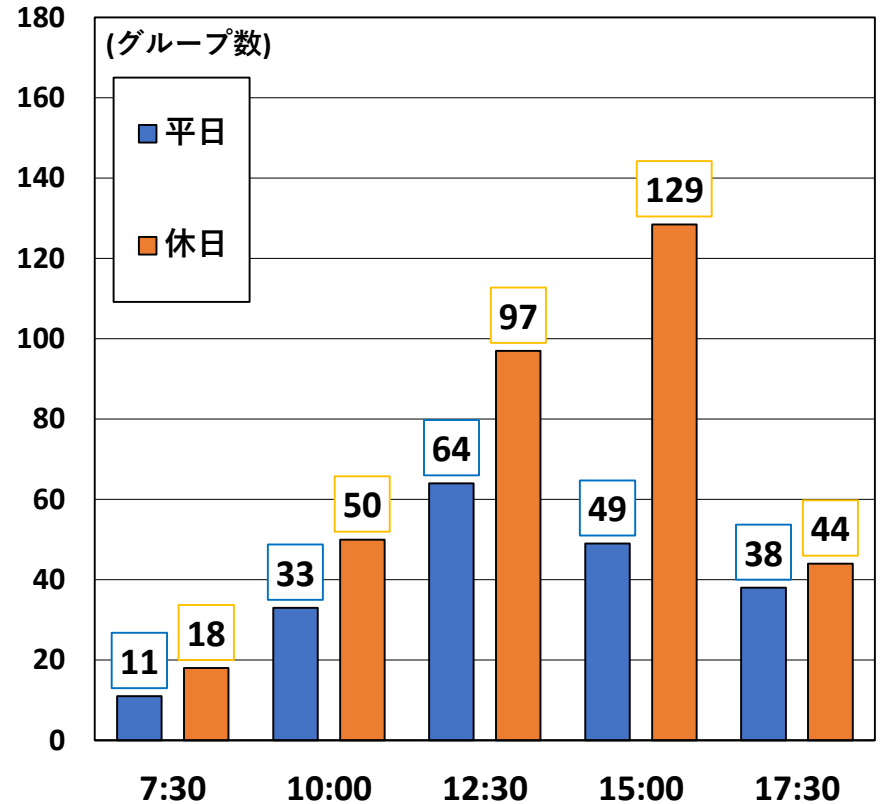


# 滞留利用実態：平日・休日、時間帯別滞留グループ数

## 韮公園



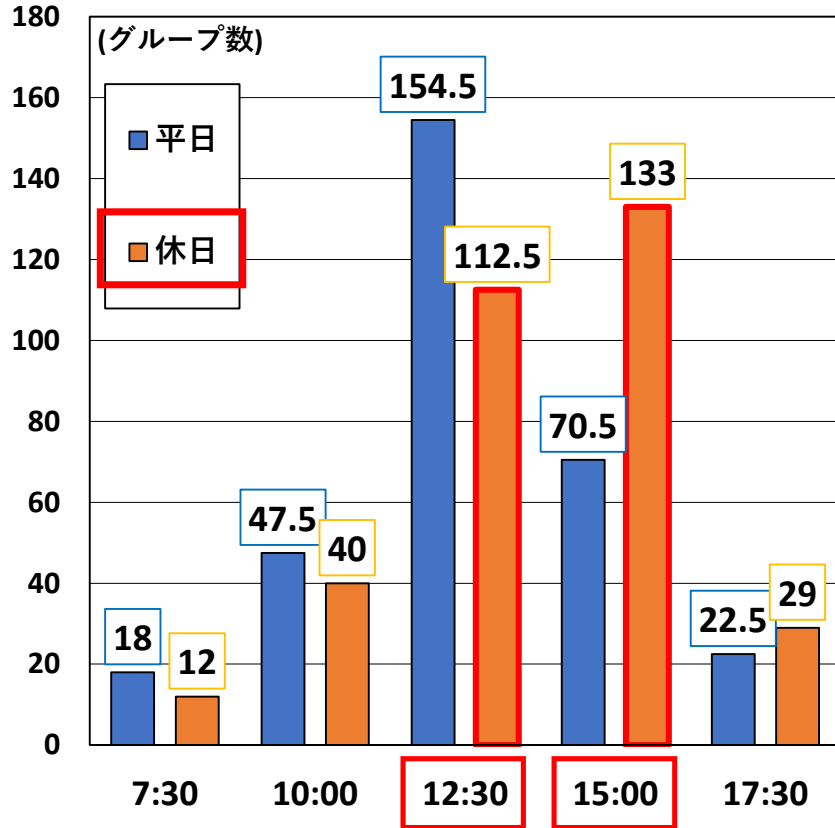
## 扇町公園



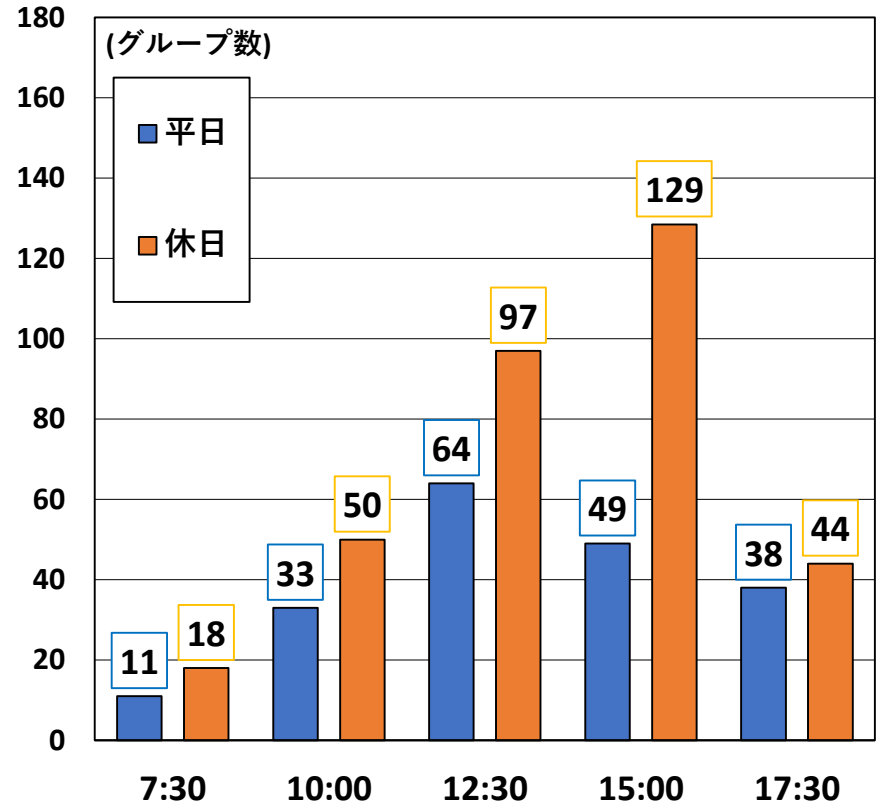


# 滞留利用実態：平日・休日、時間帯別滞留グループ数

## 韮公園

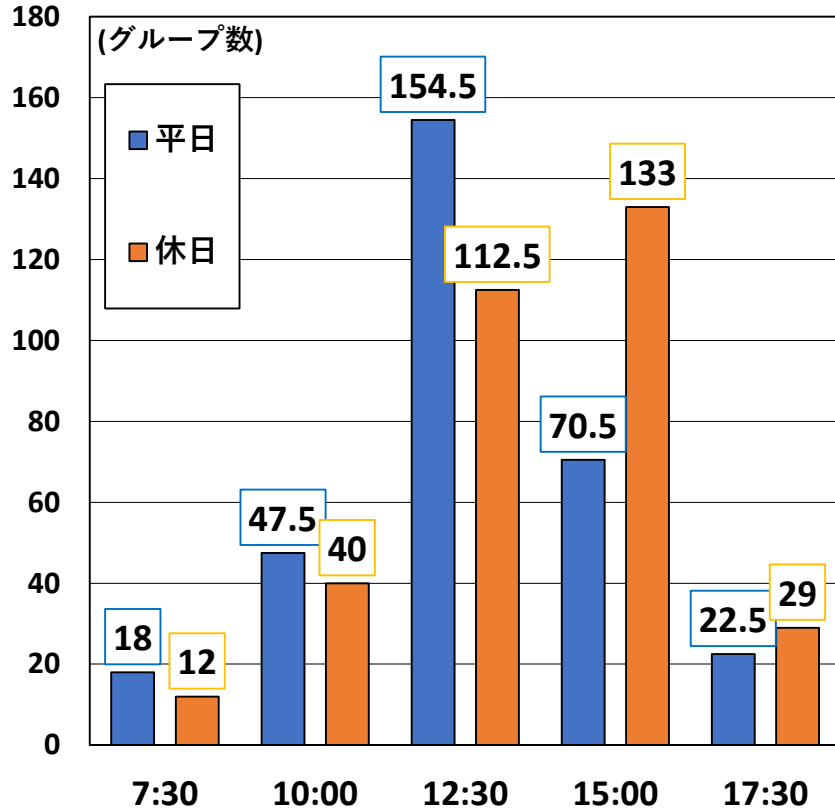


## 扇町公園

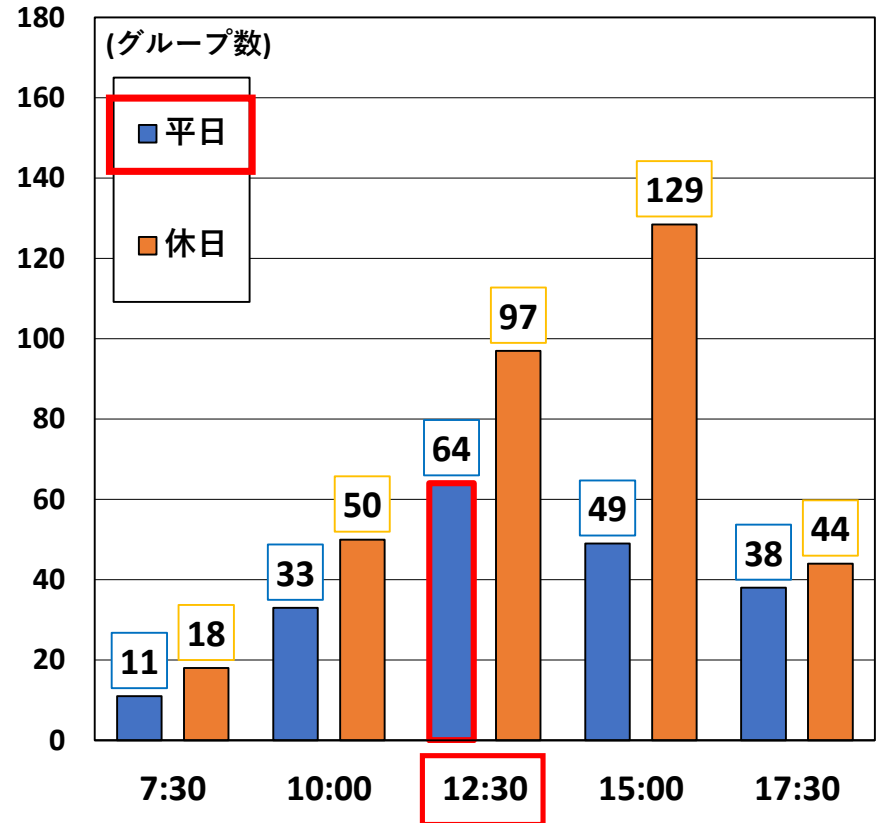


# 滞留利用実態：平日・休日、時間帯別滞留グループ数

## 鞆公園



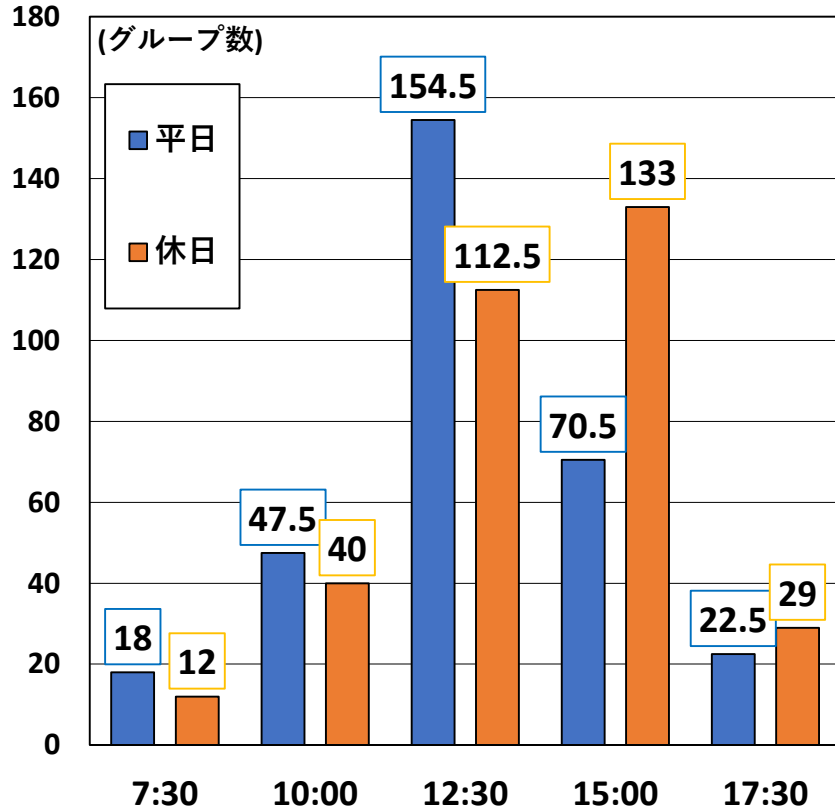
## 扇町公園



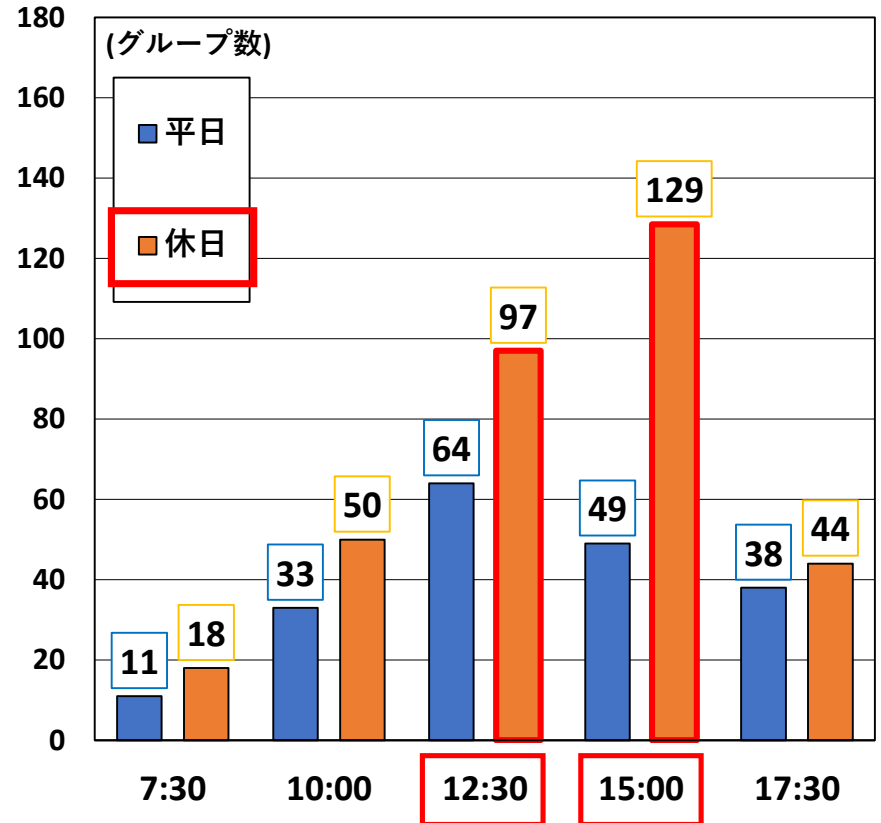


# 滞留利用実態：平日・休日、時間帯別滞留グループ数

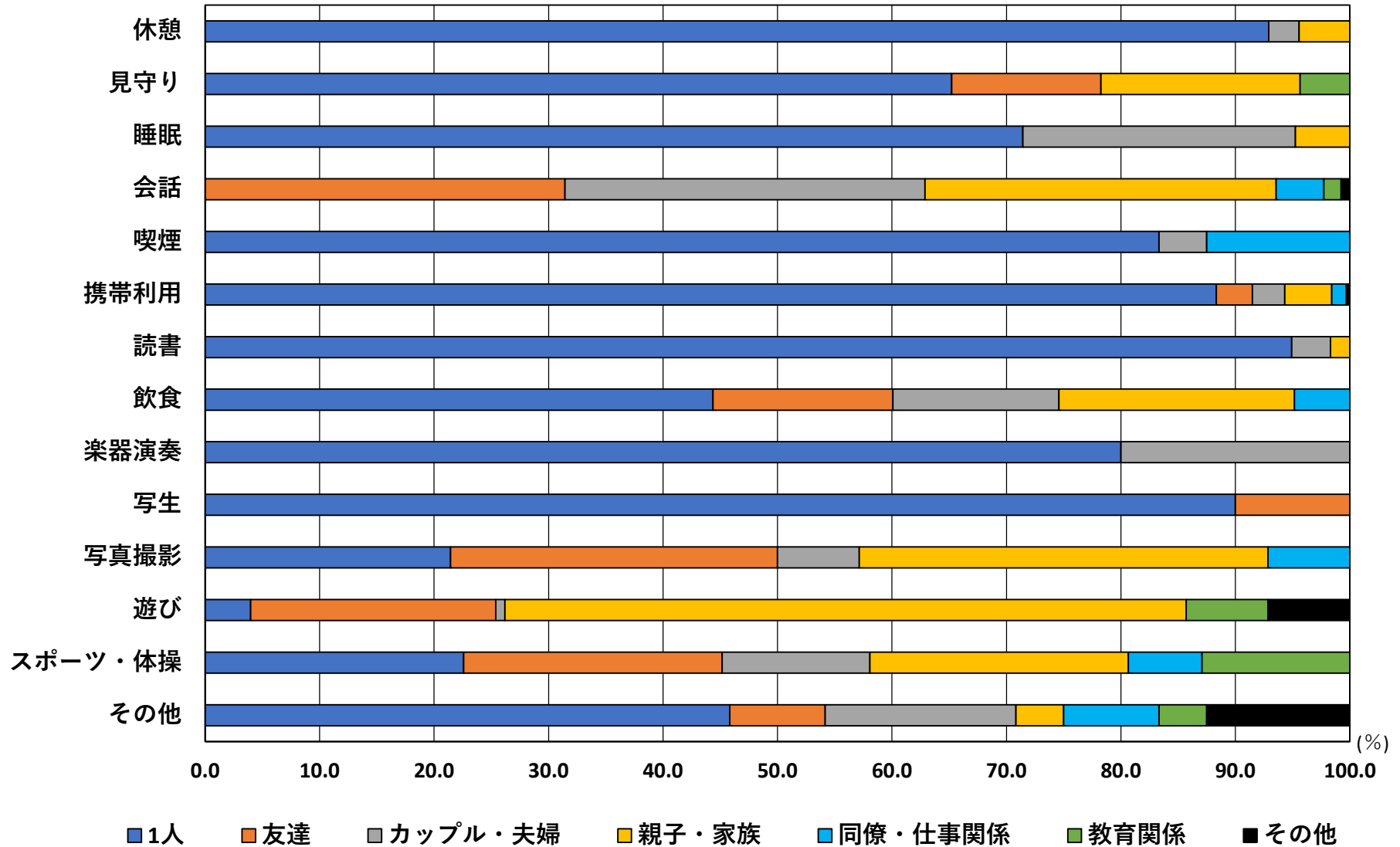
## 韮公園



## 扇町公園

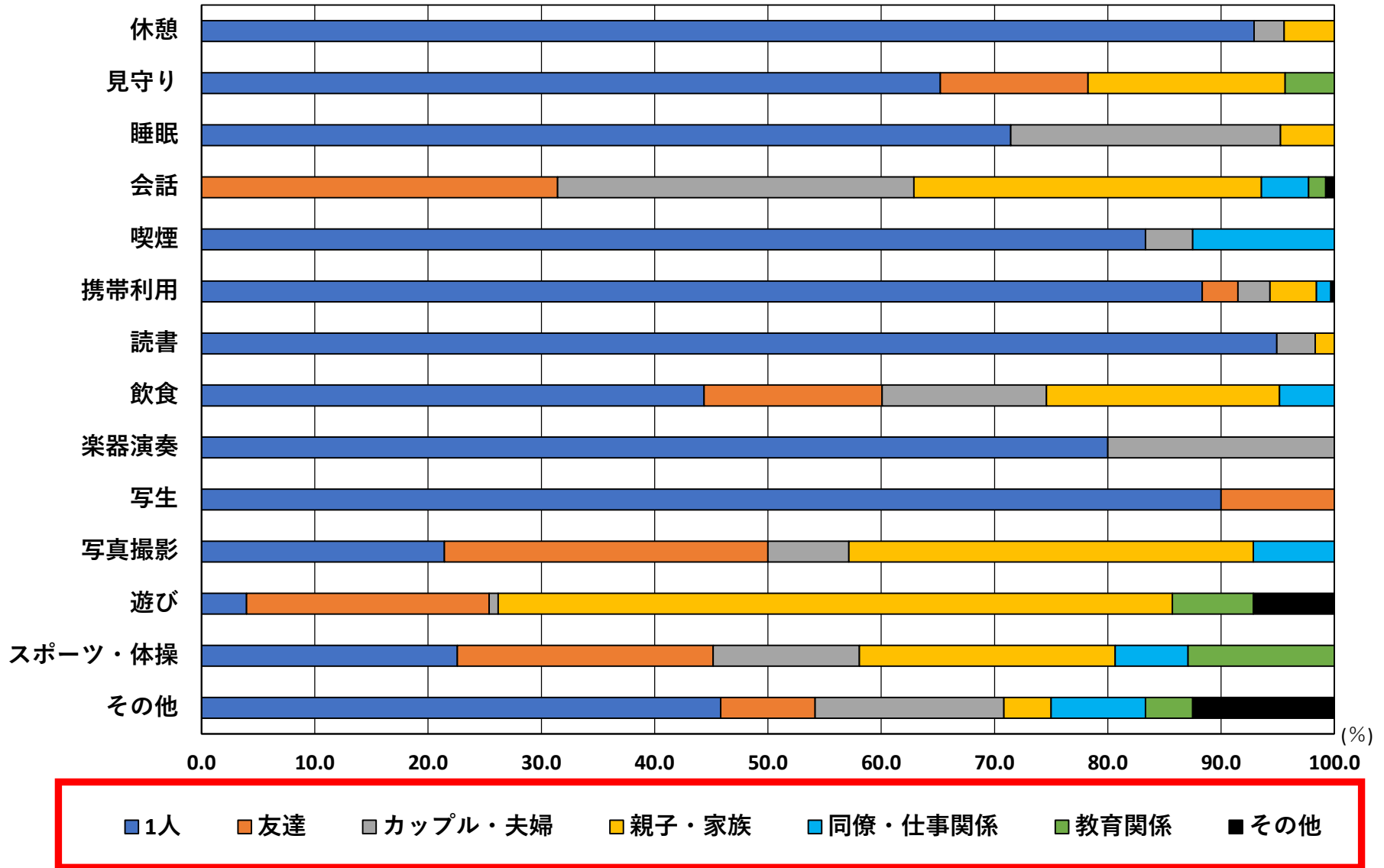


# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）

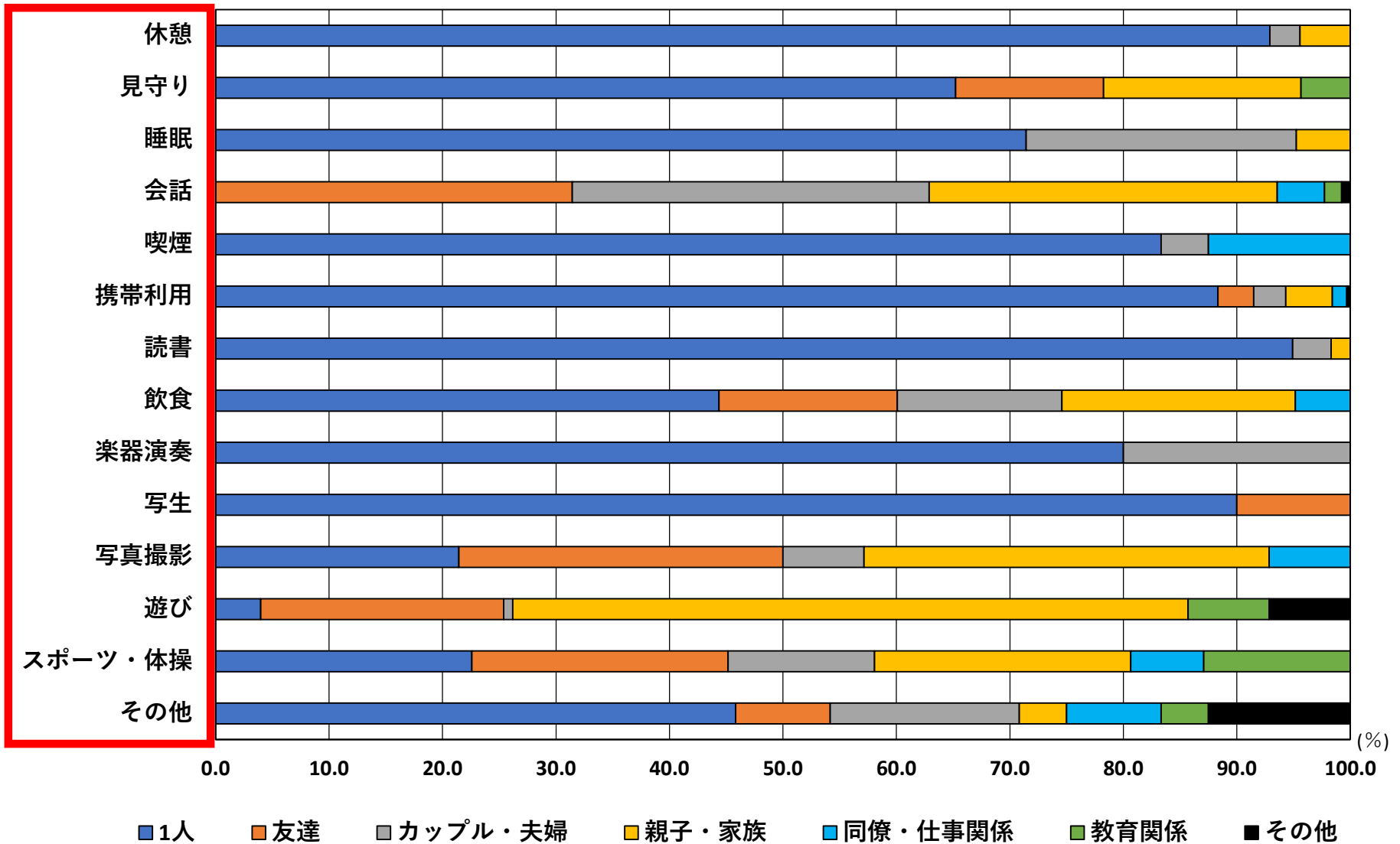




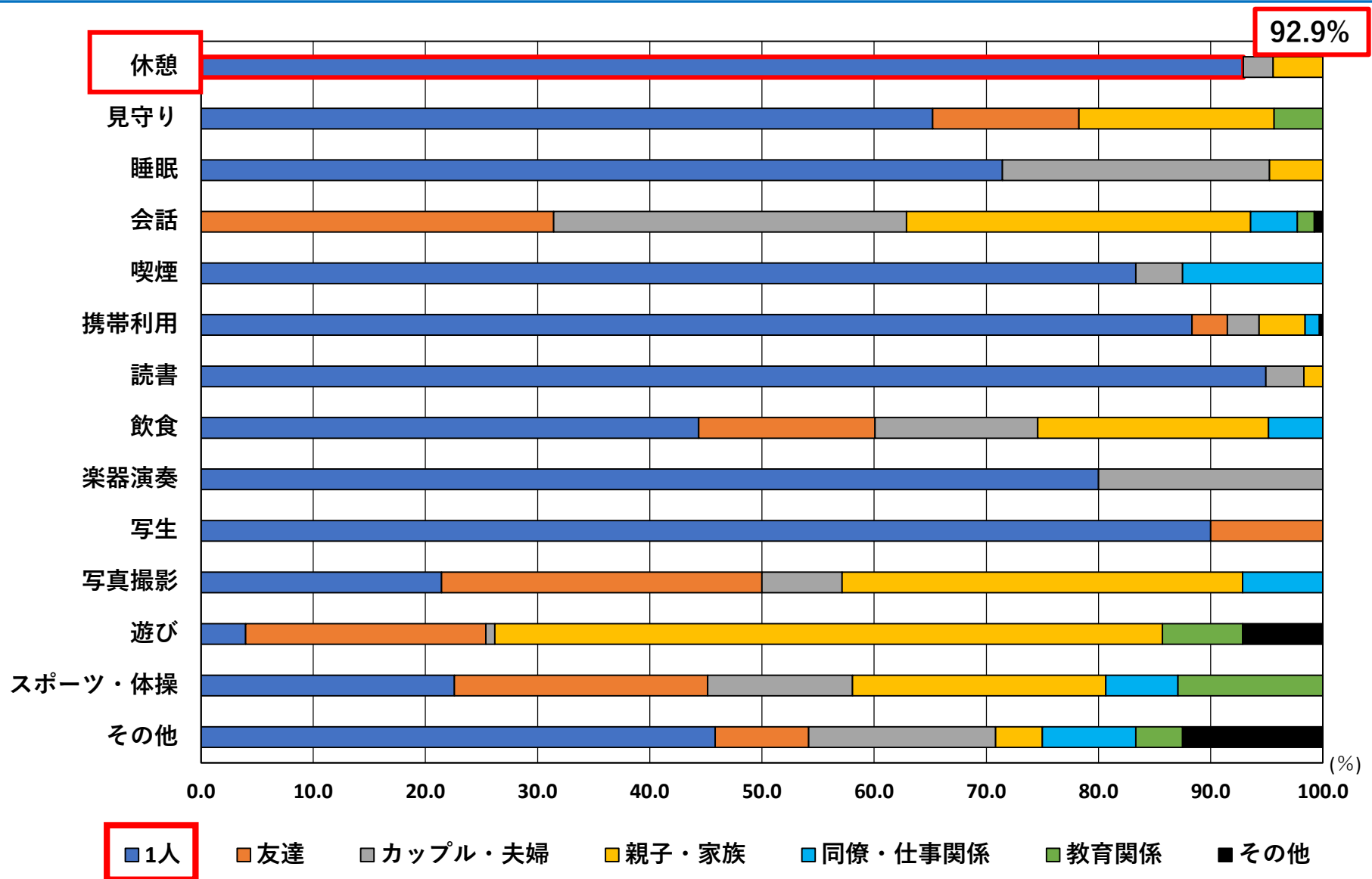
# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）



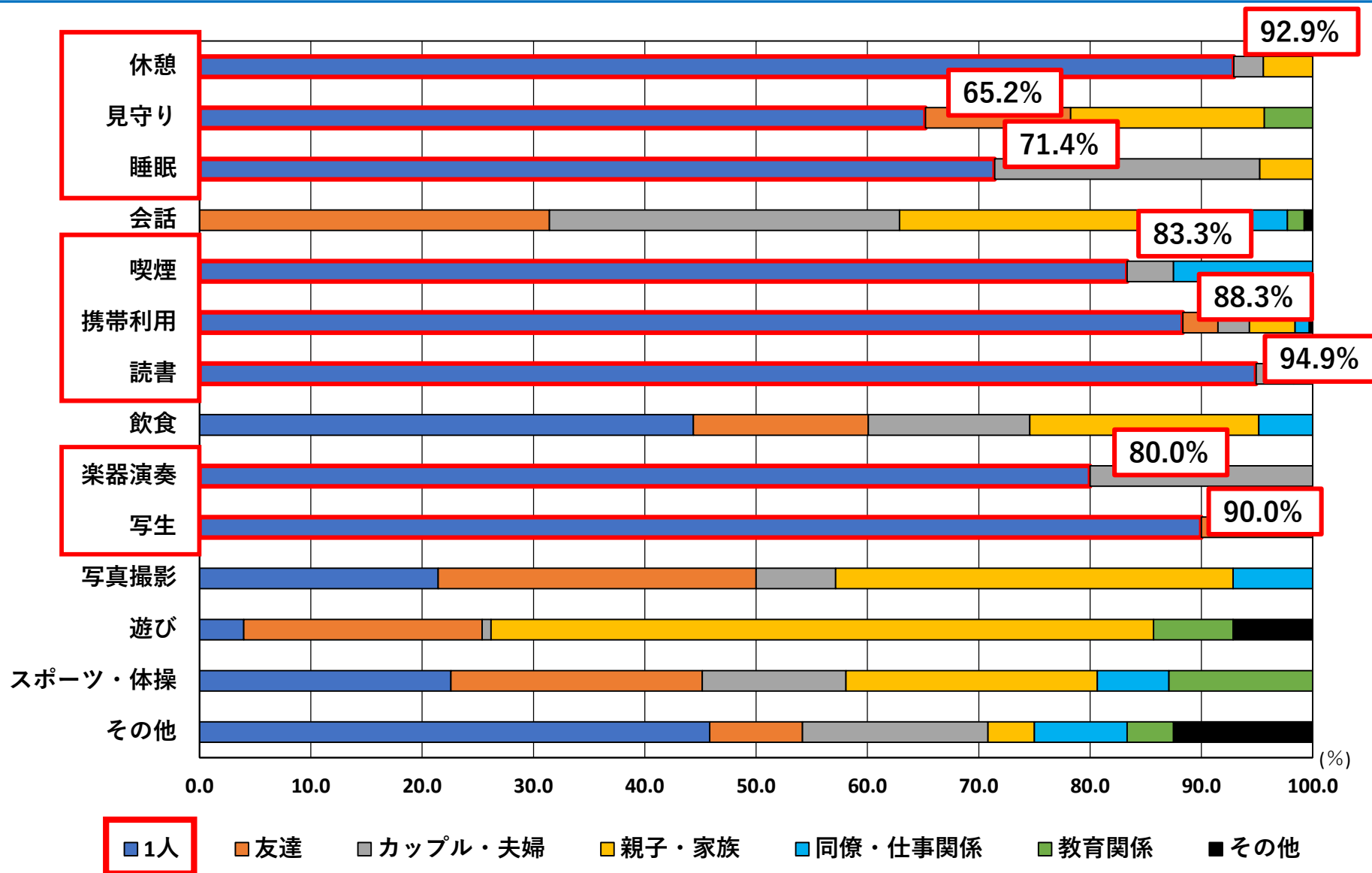
# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）



# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）

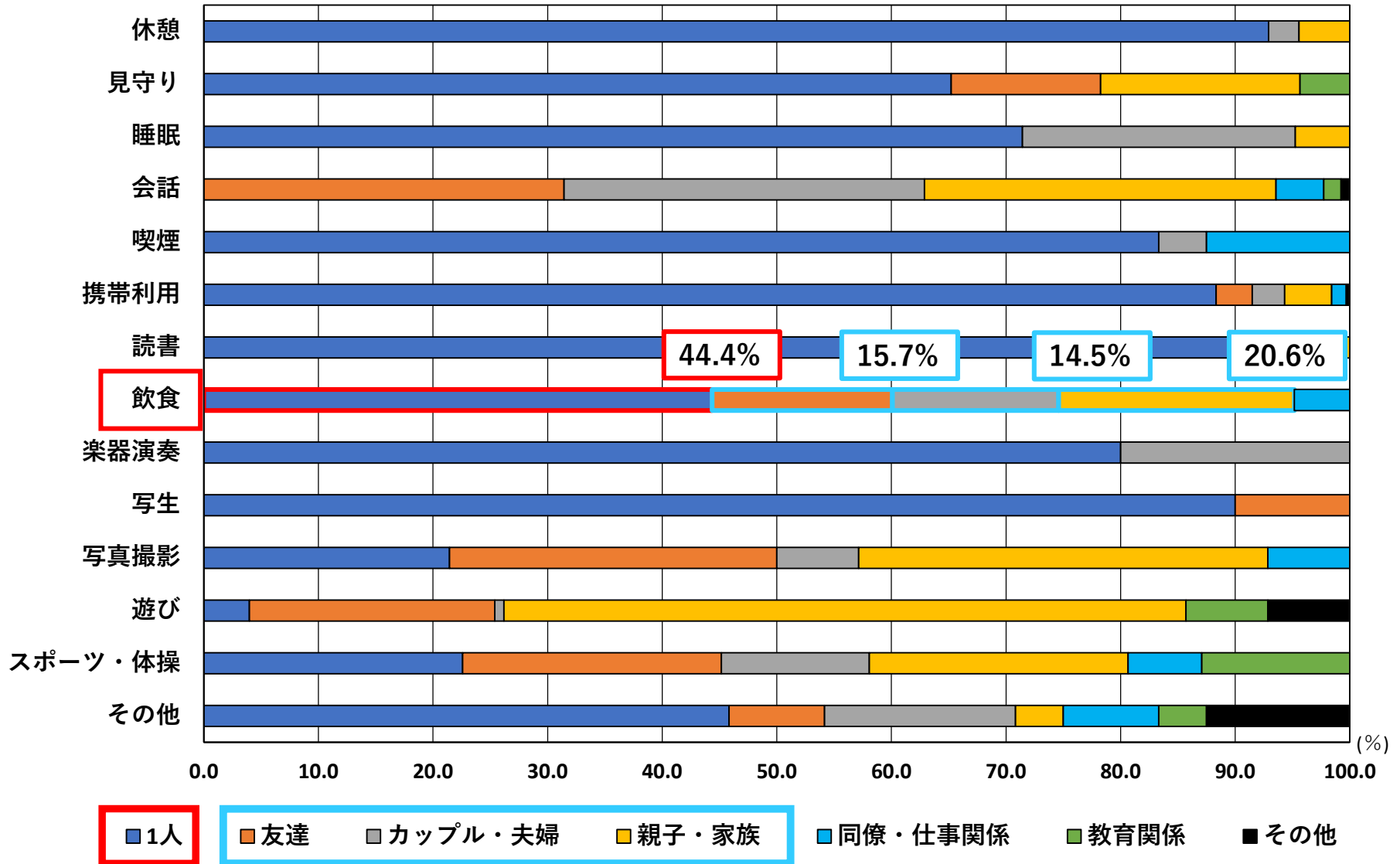


# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）

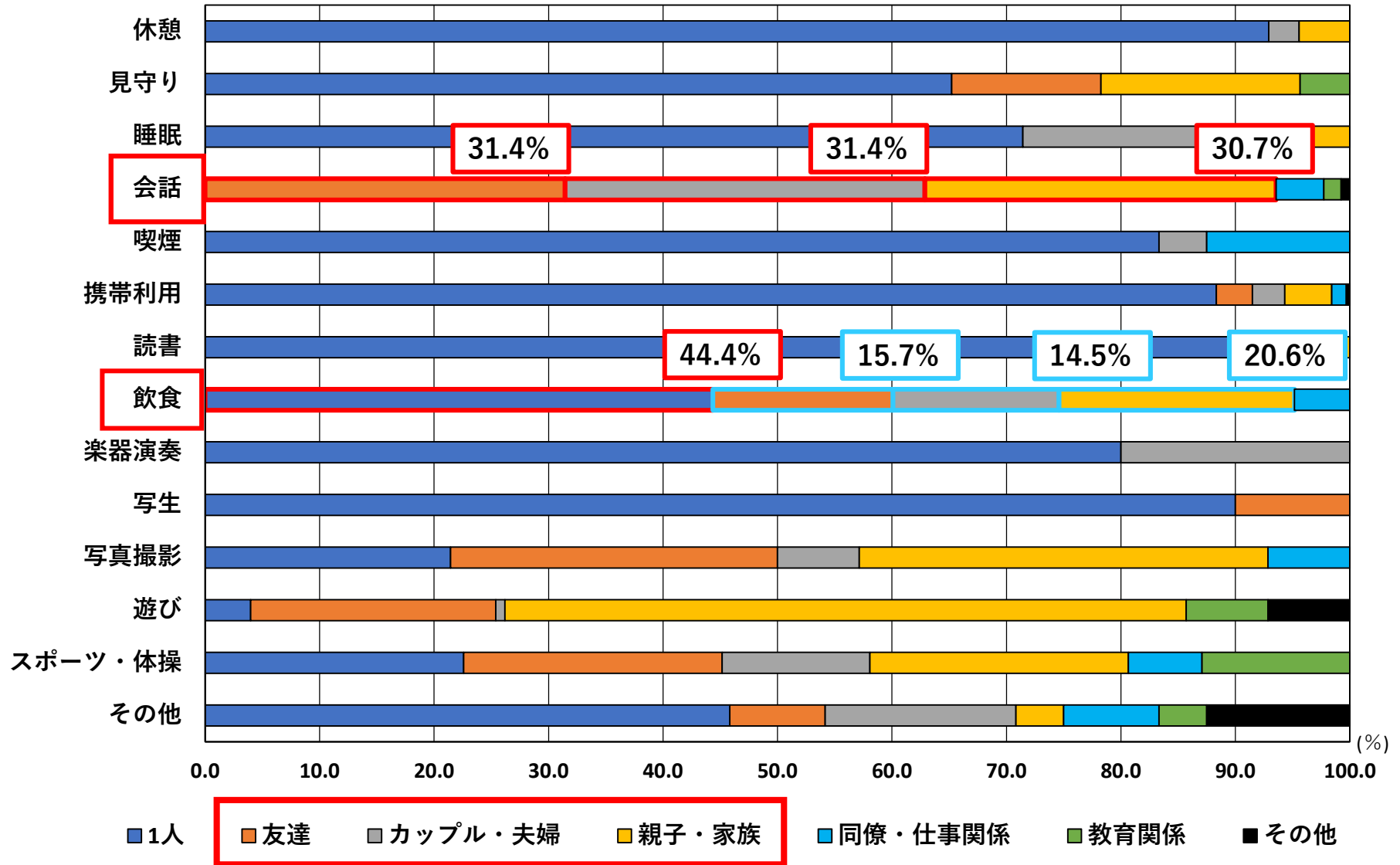




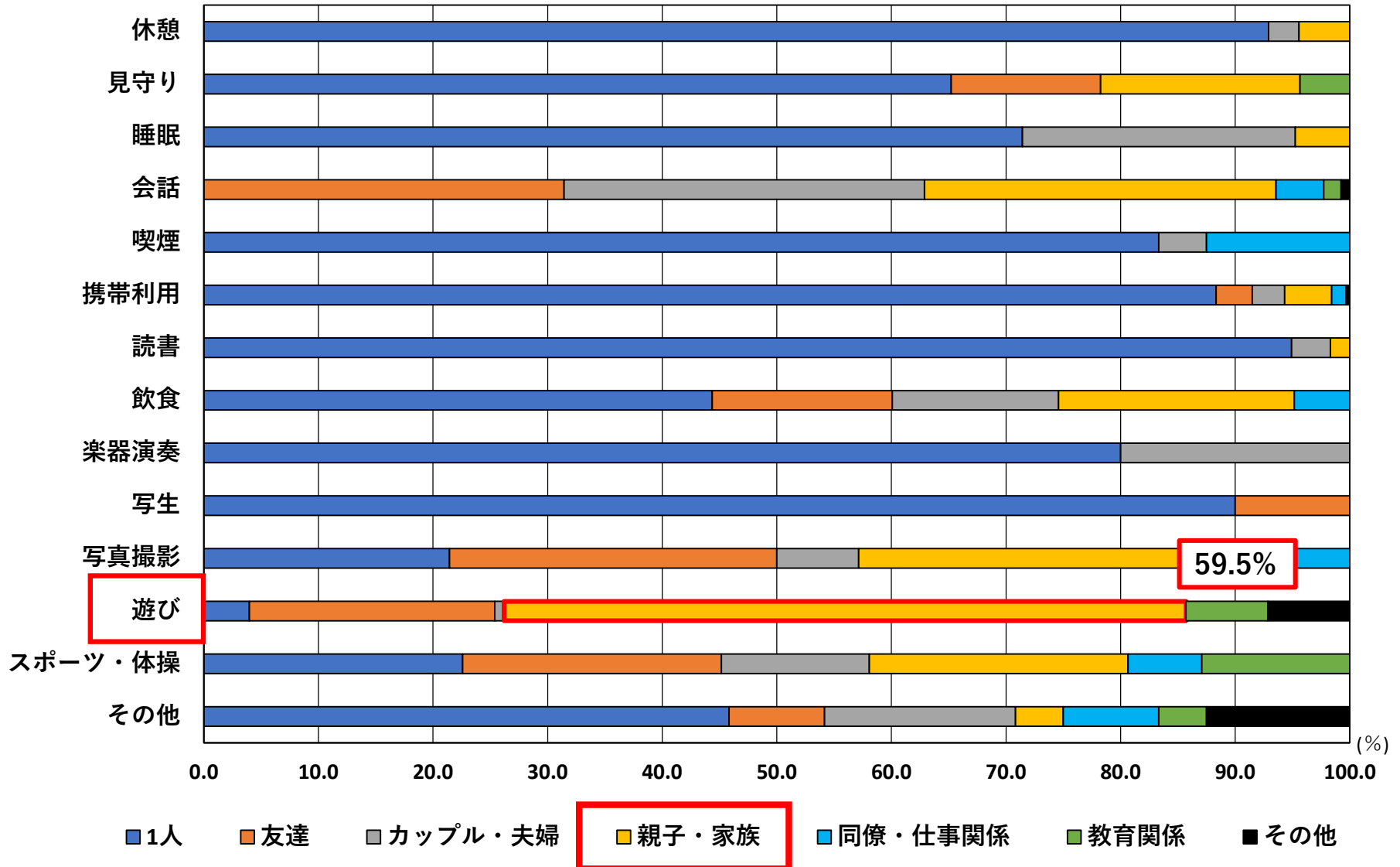
# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）



# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）



# 滞留利用実態：行為・行動とグループ特性（韮公園）



# 滞留利用実態：行為・行動の分布（韮公園）

10月18日（日）



- 凡例**
- 行為・行動**
- 休憩
  - 見守り
  - 睡眠
  - 会話
  - 喫煙
  - 携帯利用
  - 読書
  - 飲食
  - 楽器演奏
  - 写生
  - 写真撮影
  - 遊び
  - スポーツ・体操
  - その他

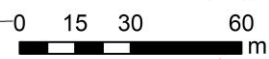


# 滞留利用実態：行為・行動の分布（韮公園）

10月18日（日）

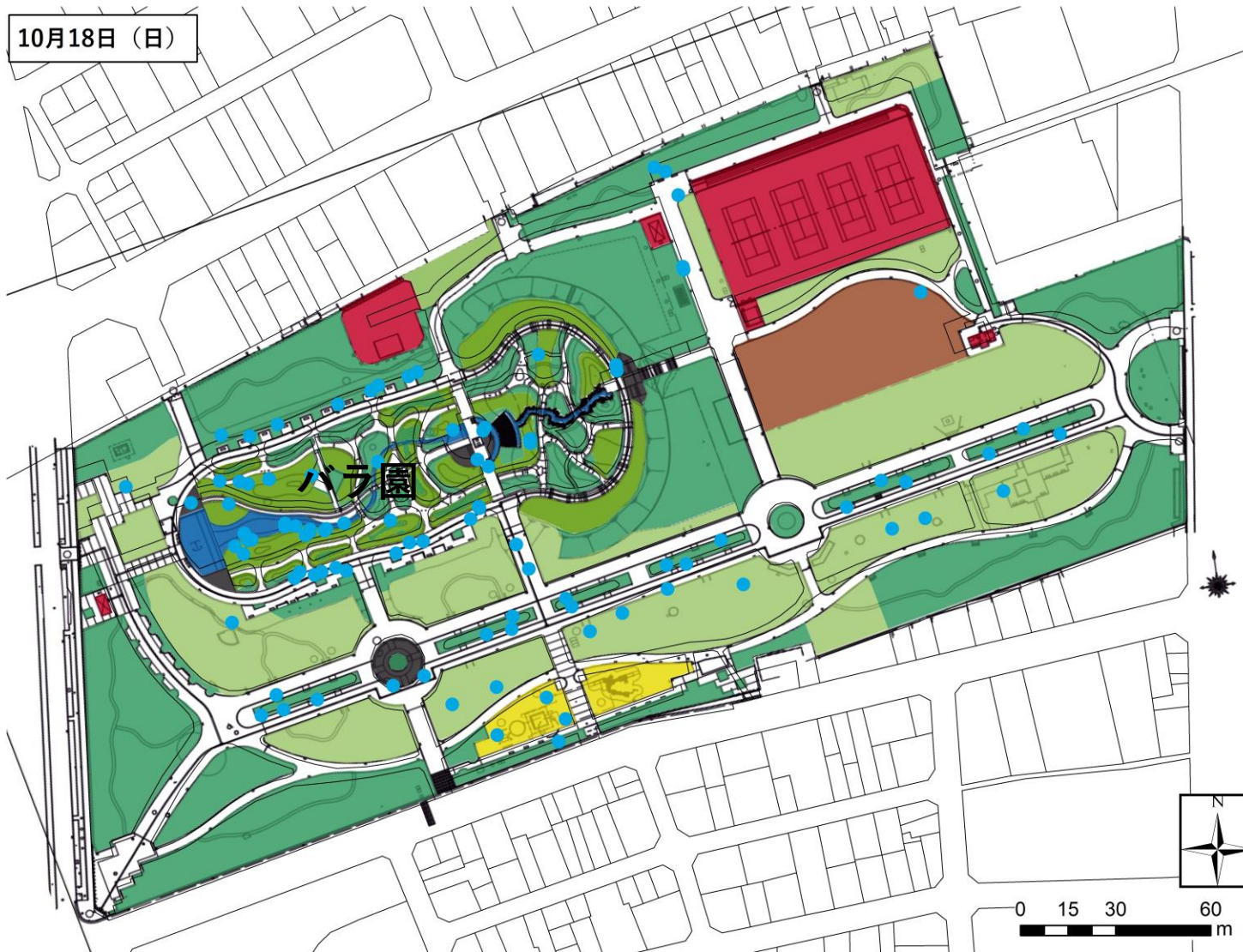


- ### 凡例
- #### 行為・行動
- 休憩
  - 見守り
  - 睡眠
  - 会話
  - 喫煙
  - 携帯利用
  - 読書
  - 飲食
  - 楽器演奏
  - 写生
  - 写真撮影
  - 遊び
  - スポーツ・体操
  - その他



# 滞留利用実態：行為・行動の分布（韮公園）

10月18日（日）

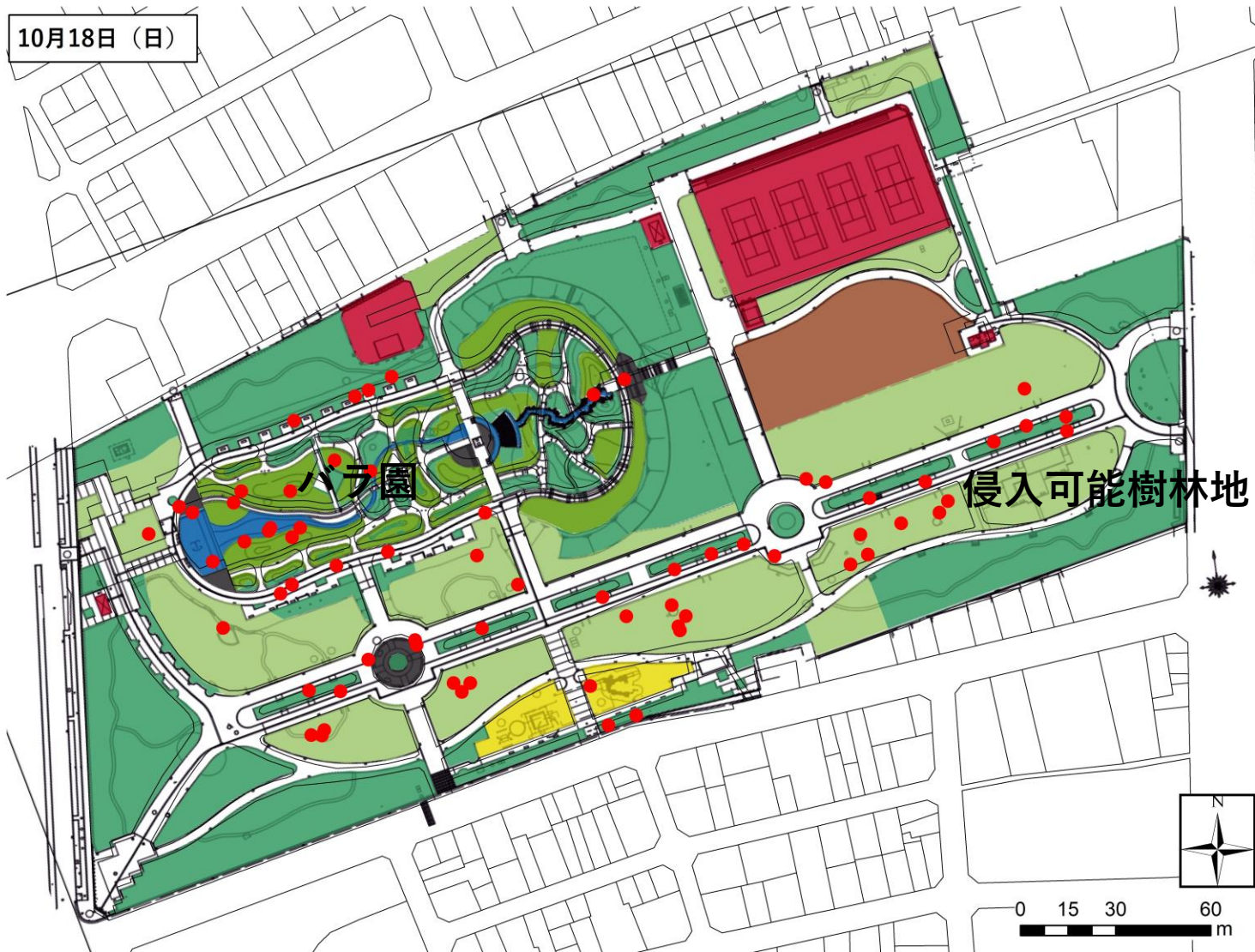


- ### 凡例
- 行為・行動
- 休憩
  - 見守り
  - 睡眠
  - 会話
  - 喫煙
  - 携帯利用
  - 読書
  - 飲食
  - 楽器演奏
  - 写生
  - 写真撮影
  - 遊び
  - スポーツ・体操
  - その他



# 滞留利用実態：行為・行動の分布（韮公園）

10月18日（日）



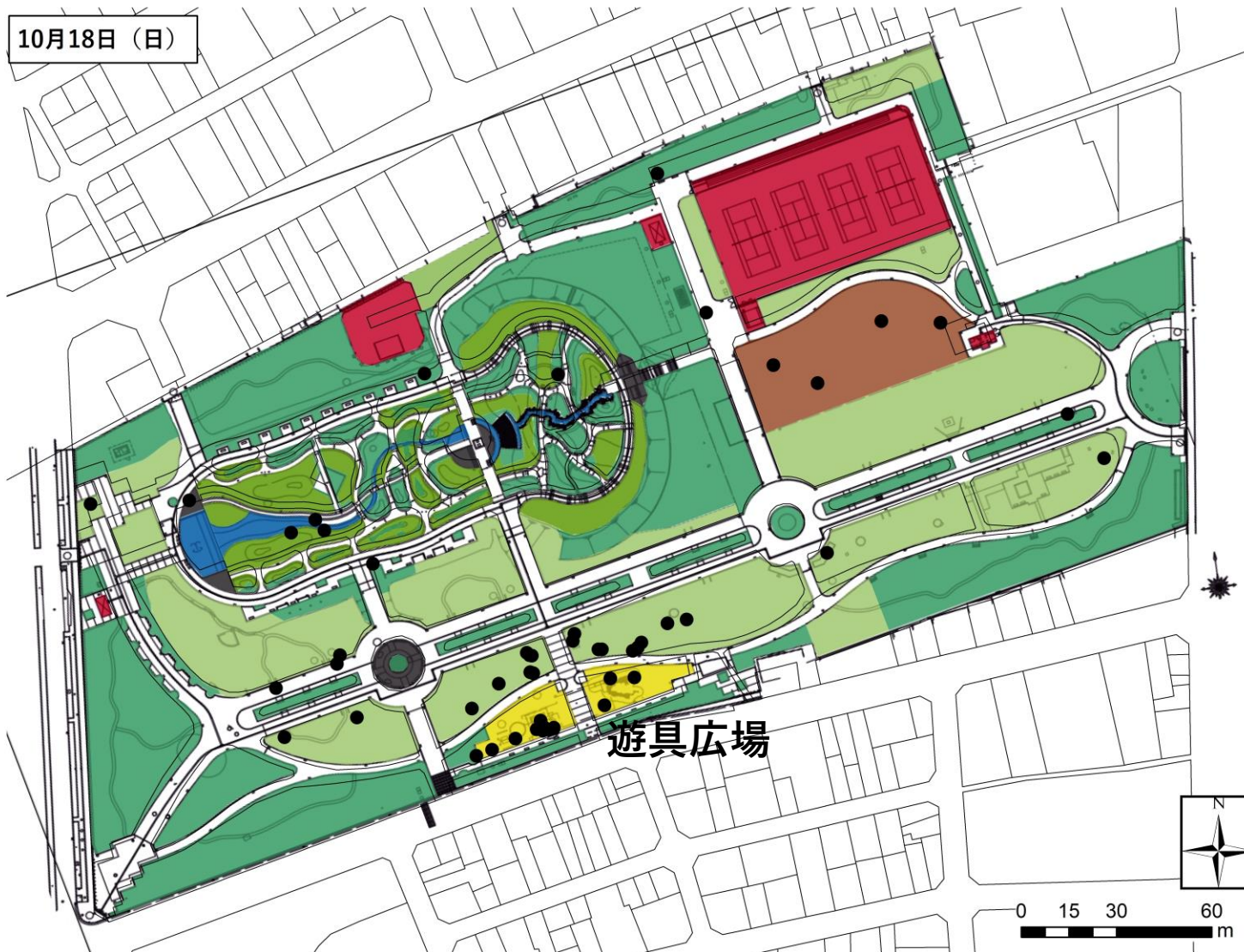
## 凡例

### 行為・行動

- 休憩
- 見守り
- 睡眠
- 会話
- 喫煙
- 携帯利用
- 読書
- 飲食
- 楽器演奏
- 写生
- 写真撮影
- 遊び
- スポーツ・体操
- その他

# 滞留利用実態：行為・行動の分布（鞆公園）

10月18日（日）



## 凡例

### 行為・行動

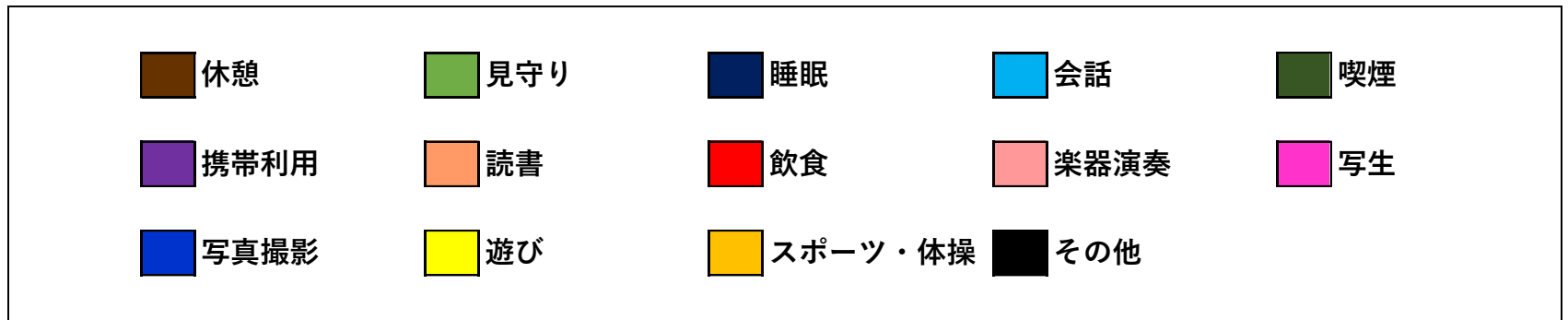
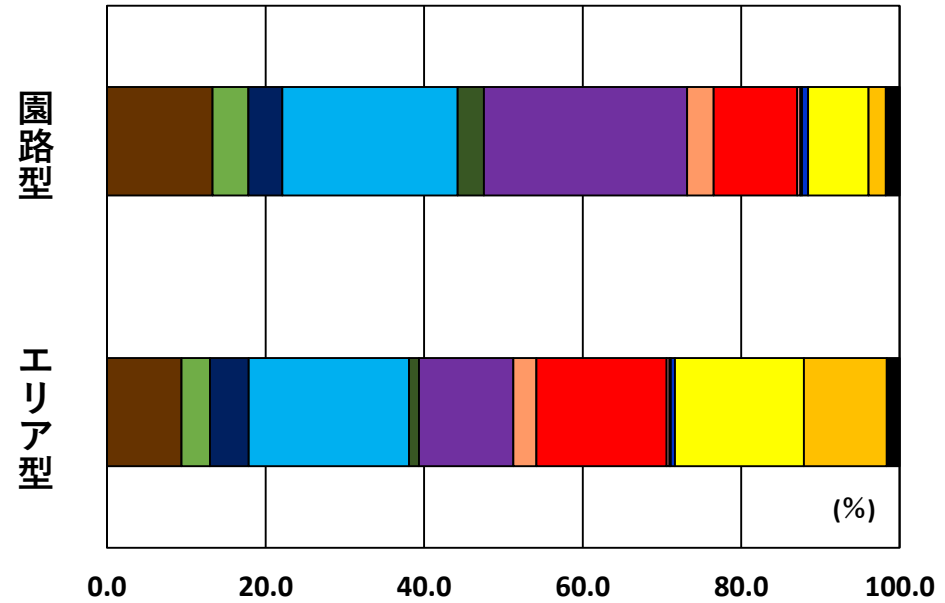
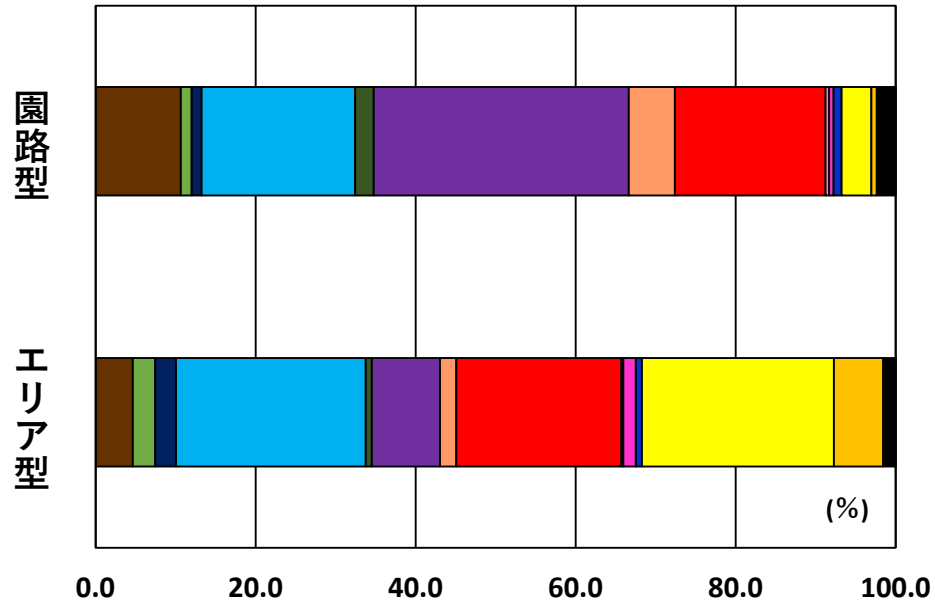
- 休憩
- 見守り
- 睡眠
- 会話
- 喫煙
- 携帯利用
- 読書
- 飲食
- 楽器演奏
- 写生
- 写真撮影
- **遊び**
- スポーツ・体操
- その他



# 滞留利用実態：園路型・エリア型

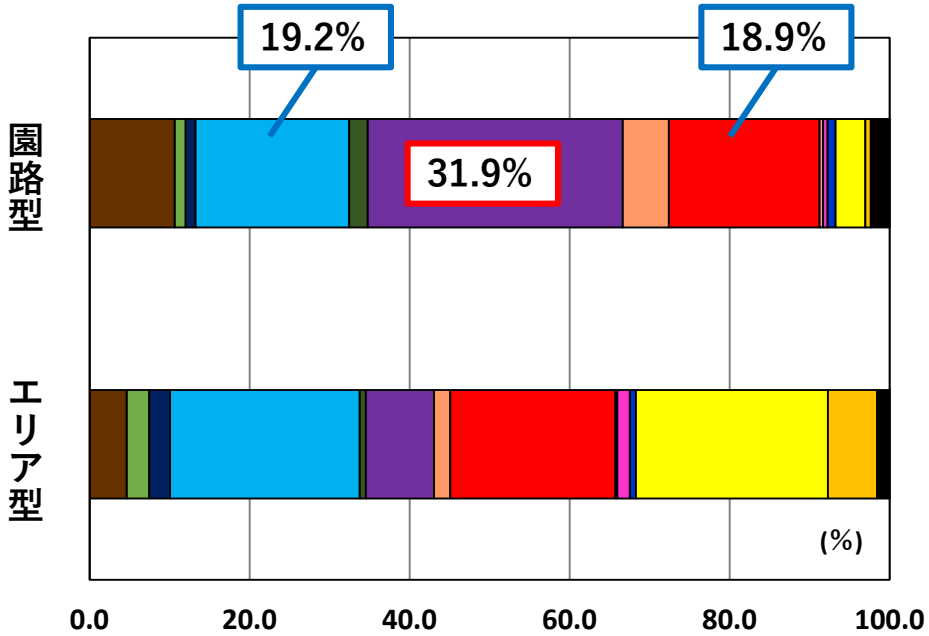
## 韮公園

## 扇町公園

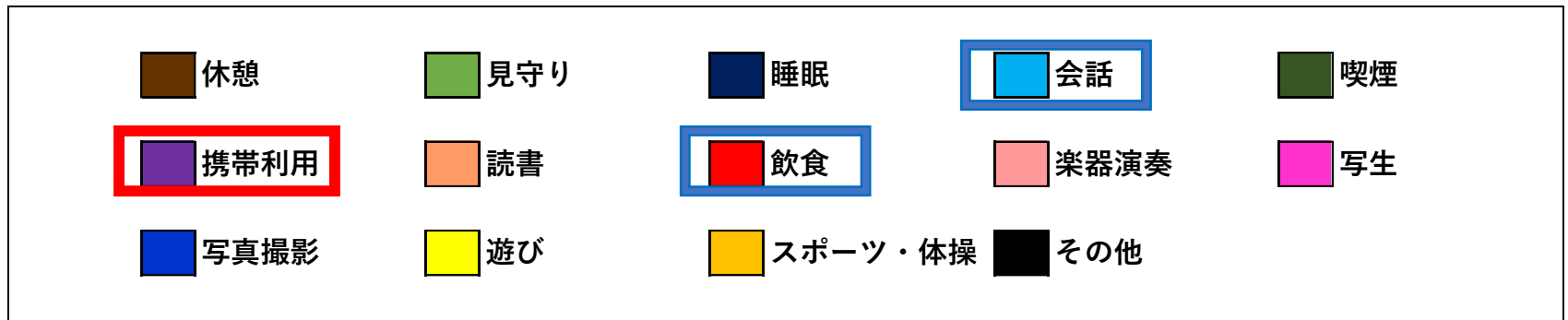
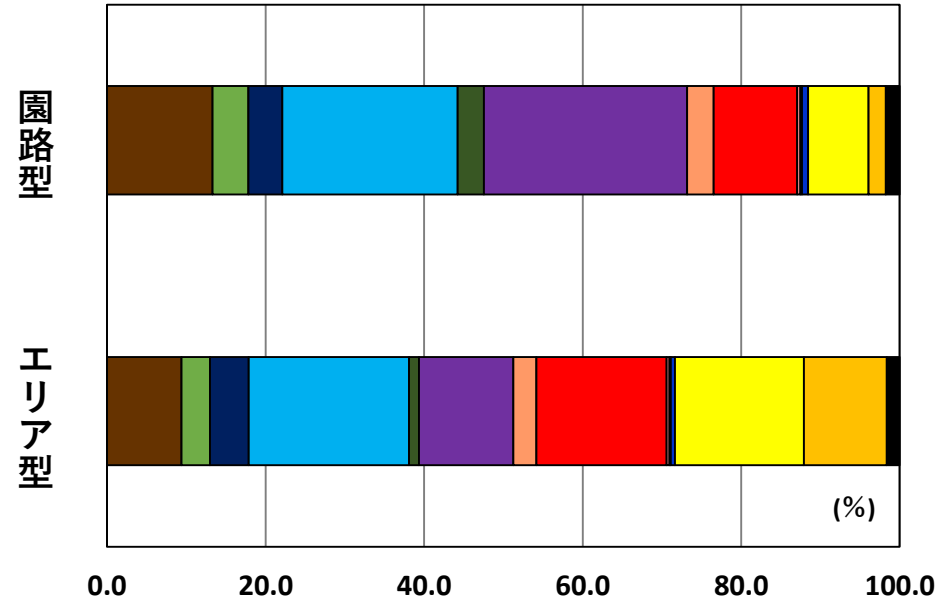


# 滞留利用実態：園路型・エリア型

## 韮公園

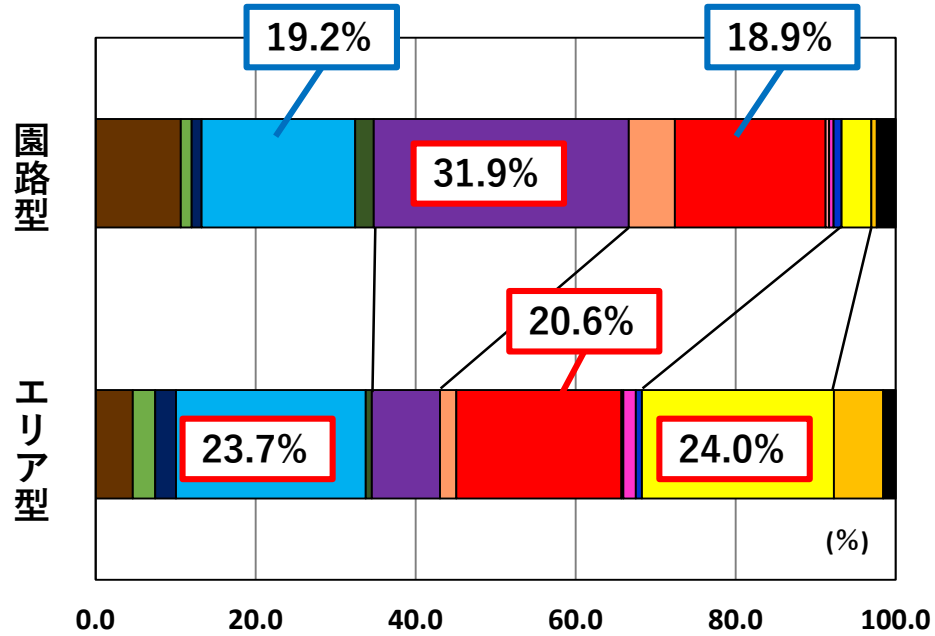


## 扇町公園

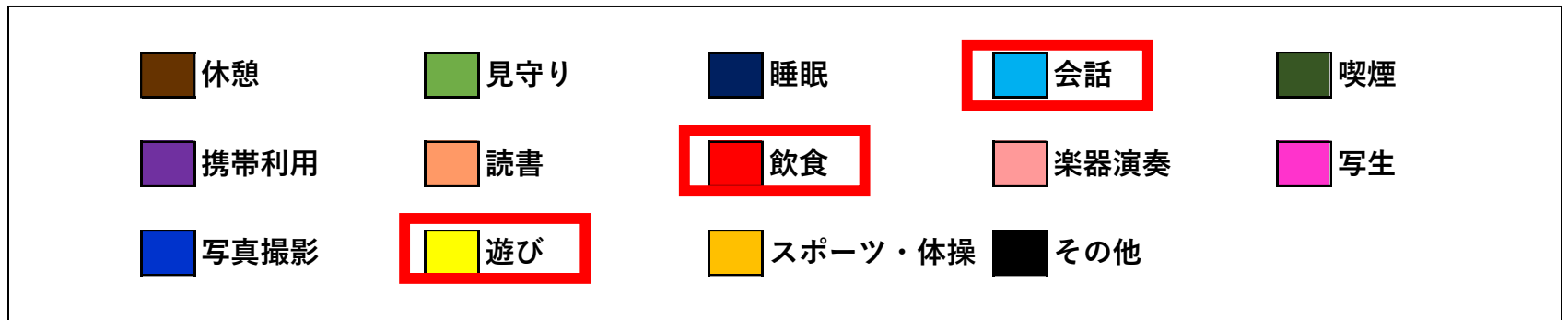
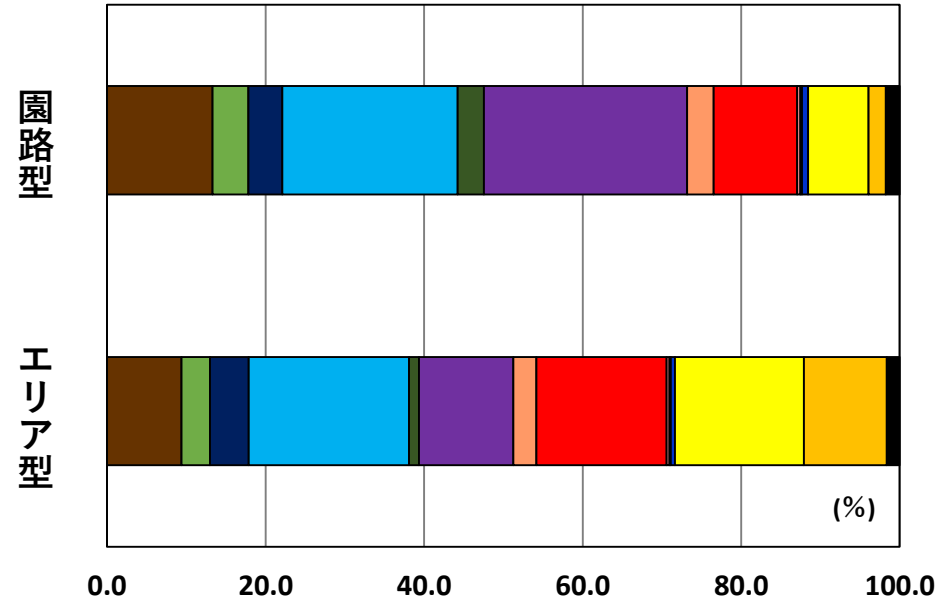


# 滞留利用実態：園路型・エリア型

## 韮公園

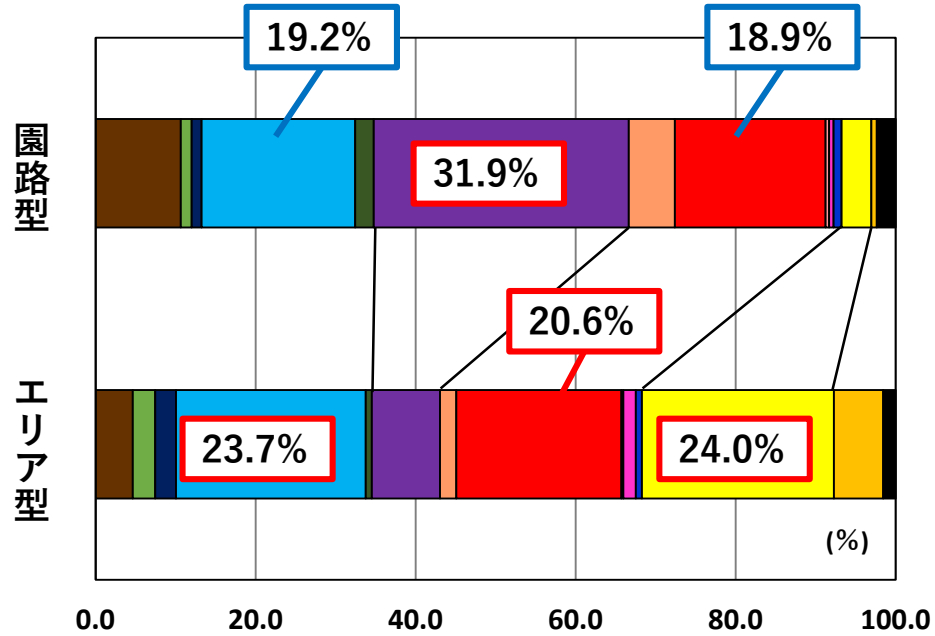


## 扇町公園

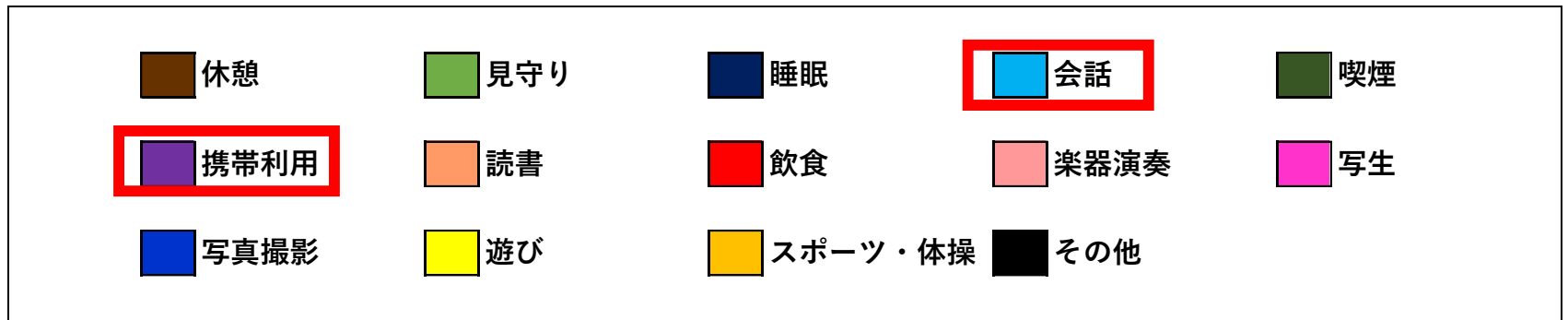
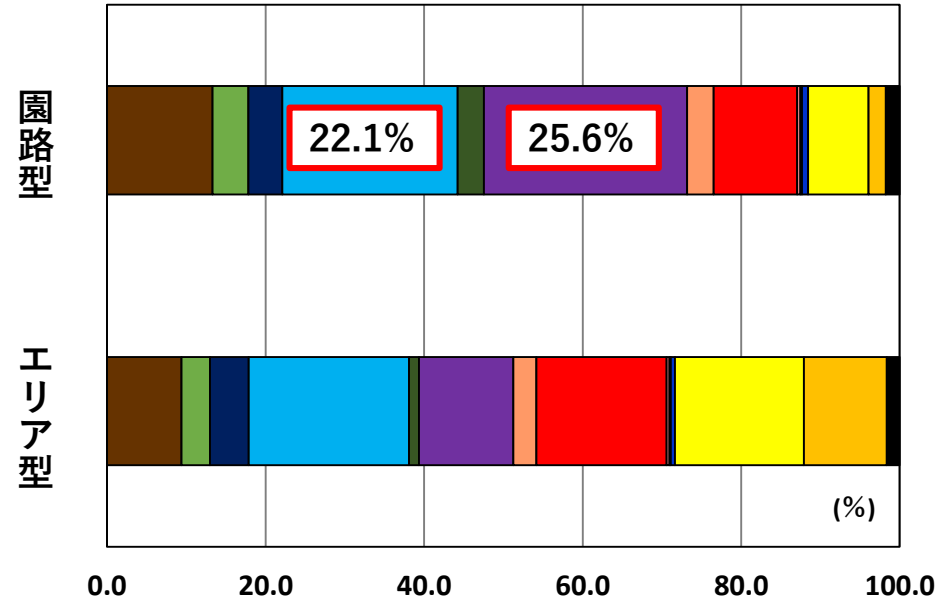


# 滞留利用実態：園路型・エリア型

## 韮公園

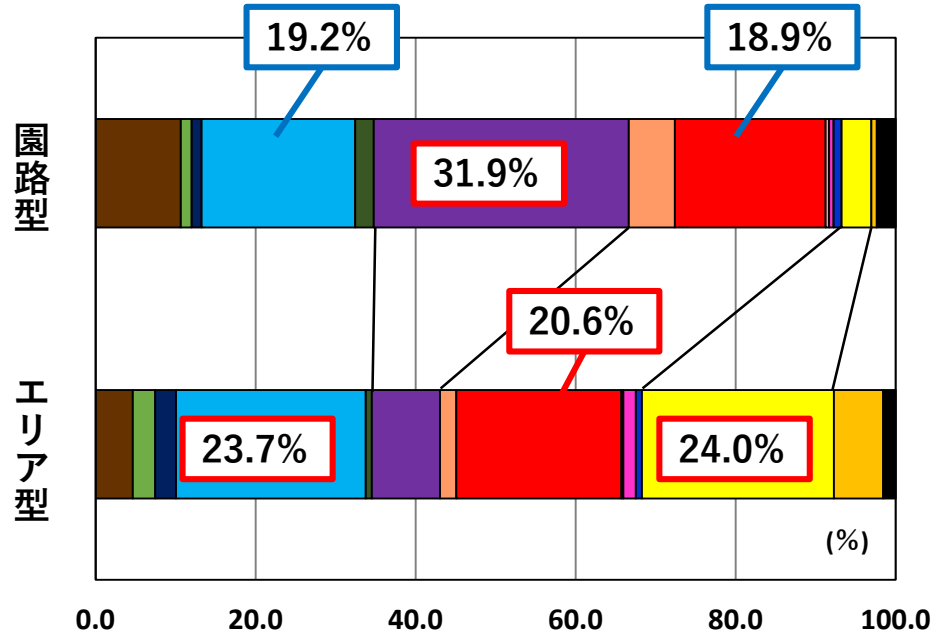


## 扇町公園

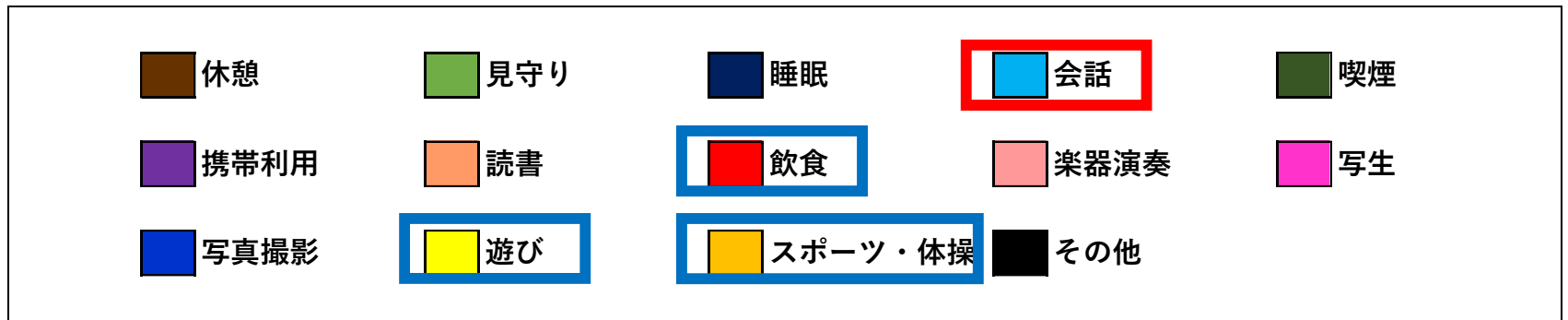
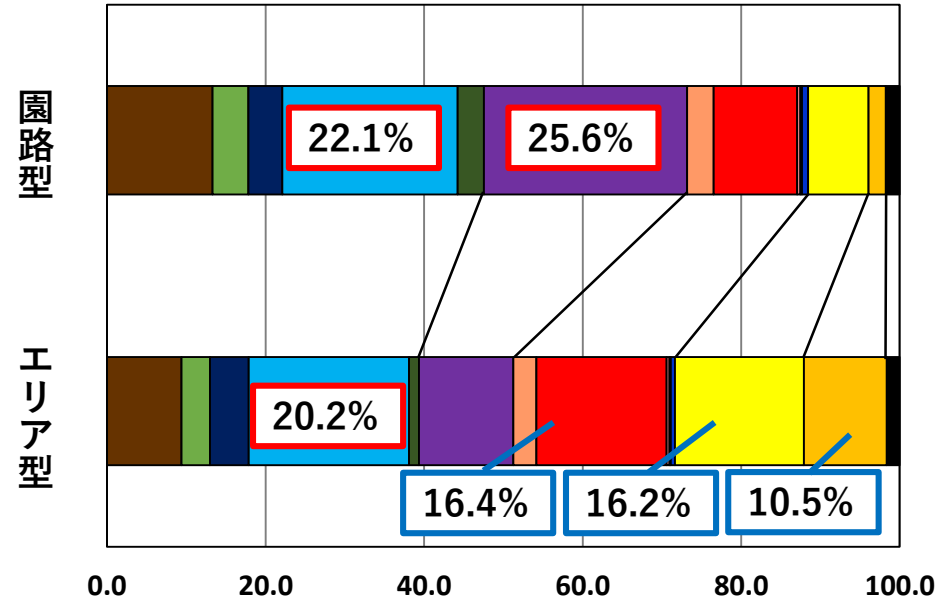


# 滞留利用実態：園路型・エリア型

## 韮公園



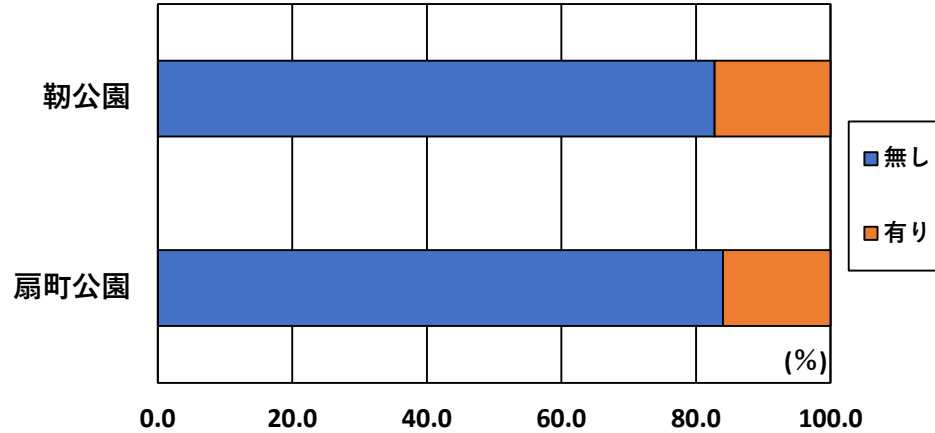
## 扇町公園





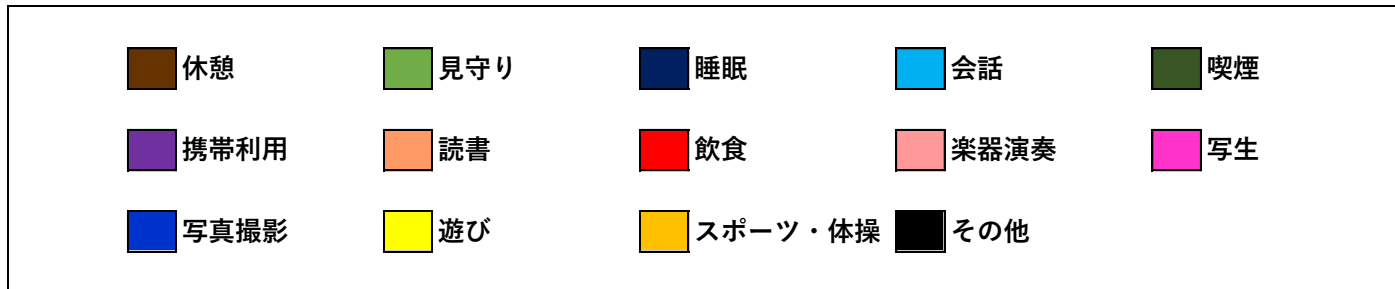
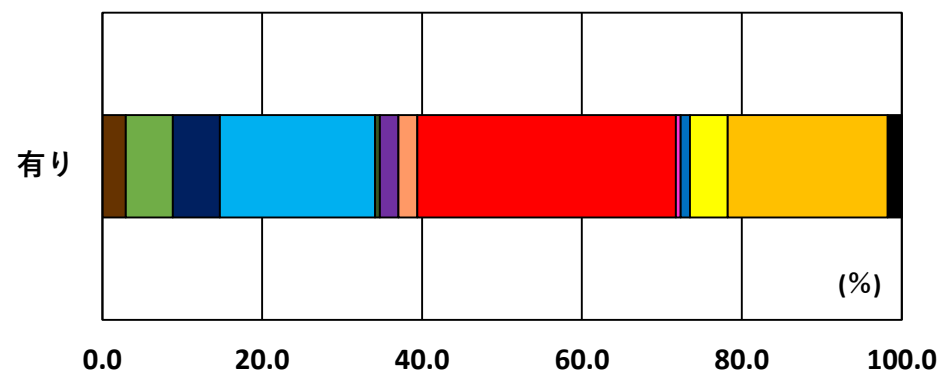
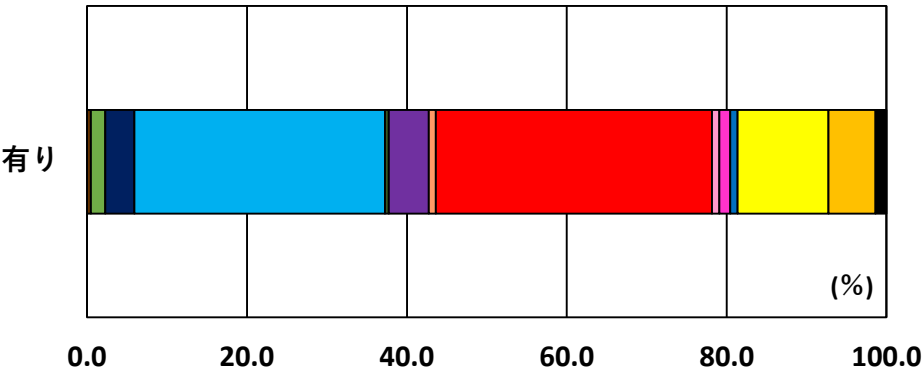
# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素と行為・行動

行為・行動を支える要素の有無



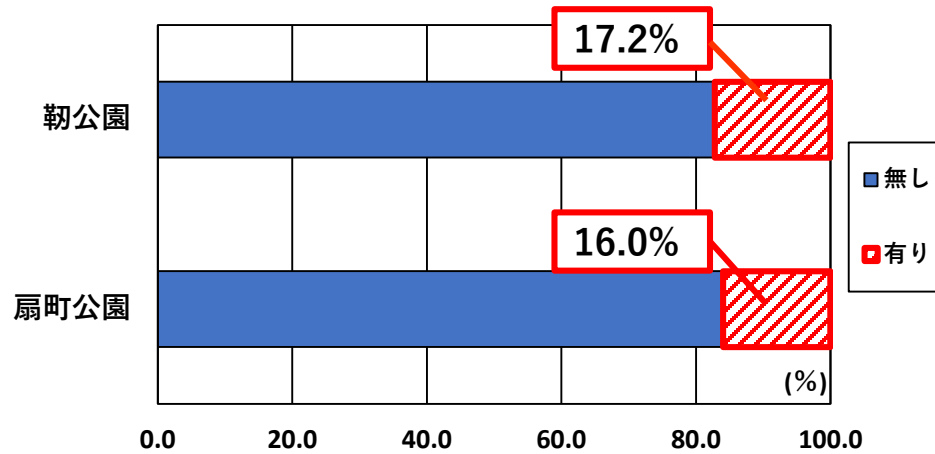
韮公園

扇町公園



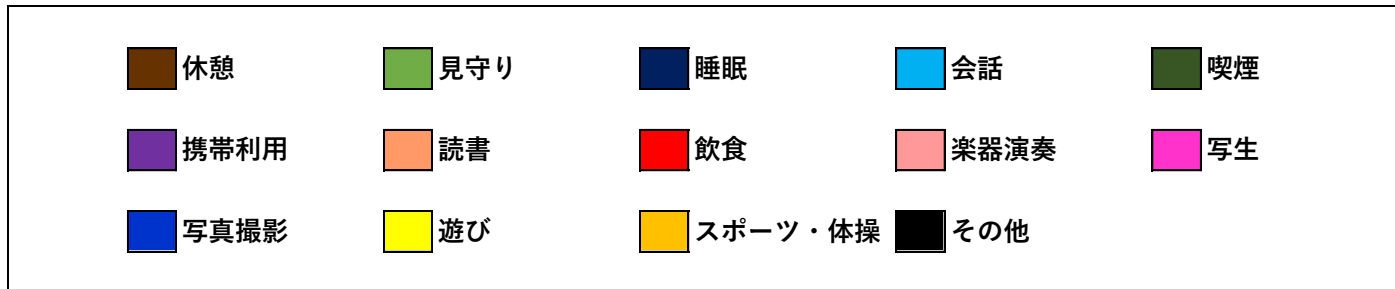
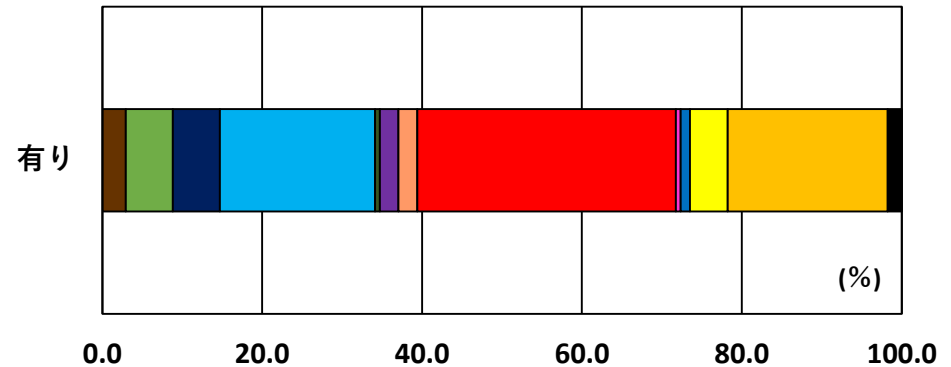
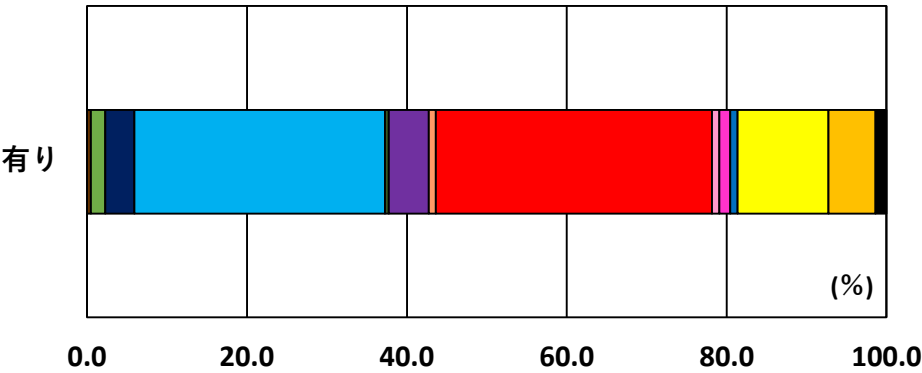
# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素と行為・行動

行為・行動を支える要素の有無



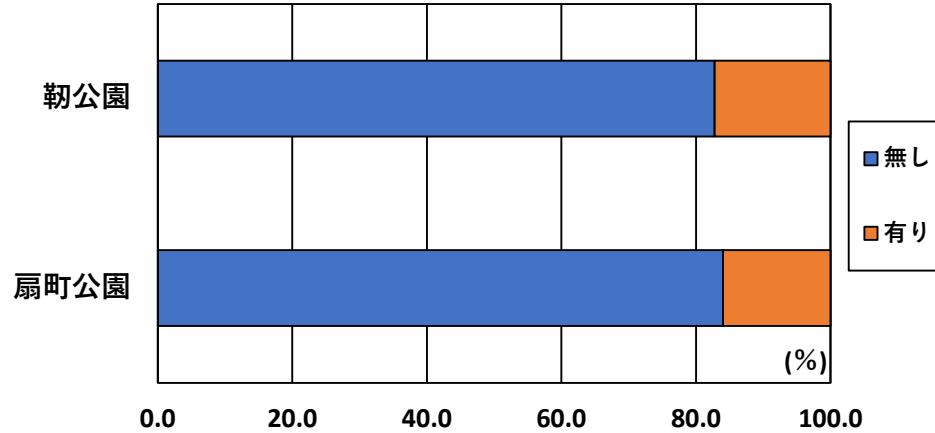
韮公園

扇町公園



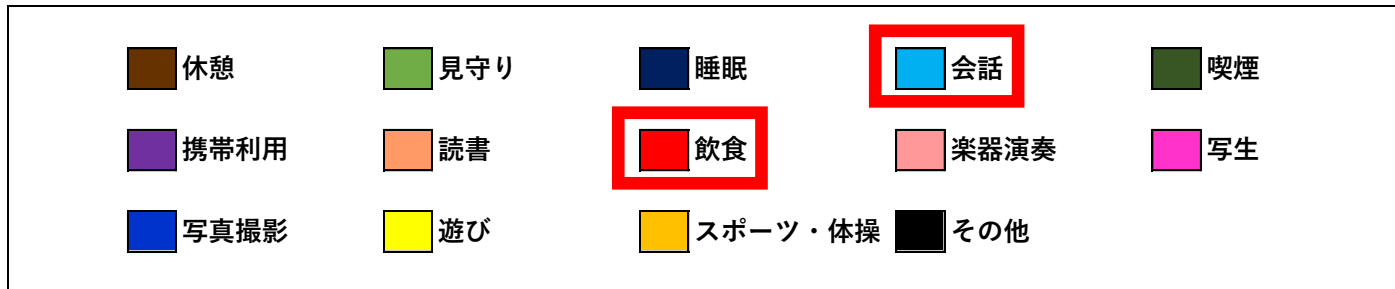
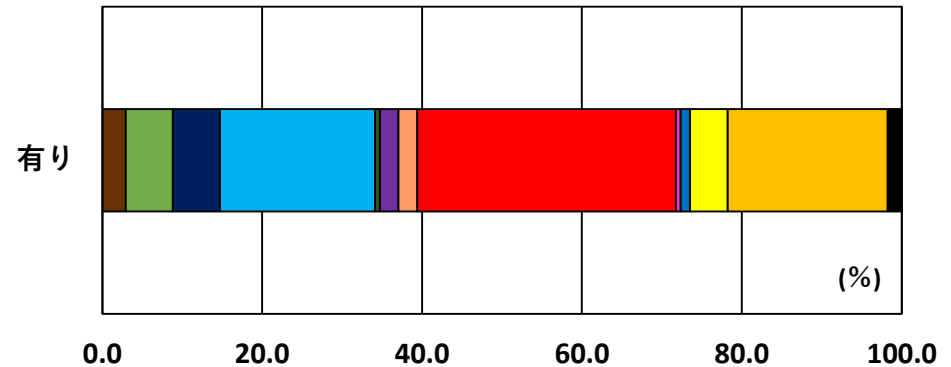
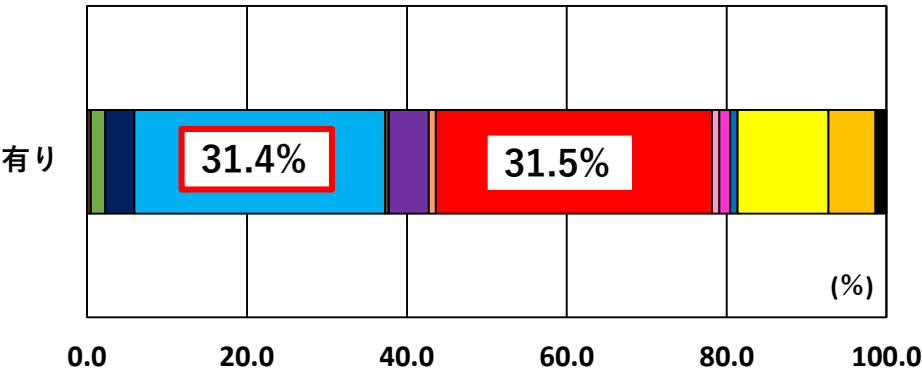
# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素と行為・行動

行為・行動を支える要素の有無



韮公園

扇町公園



# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素（韮公園）



凡例

10月18日(日)韮公園  
行為・行動を支える要素

- 無し
- 有り



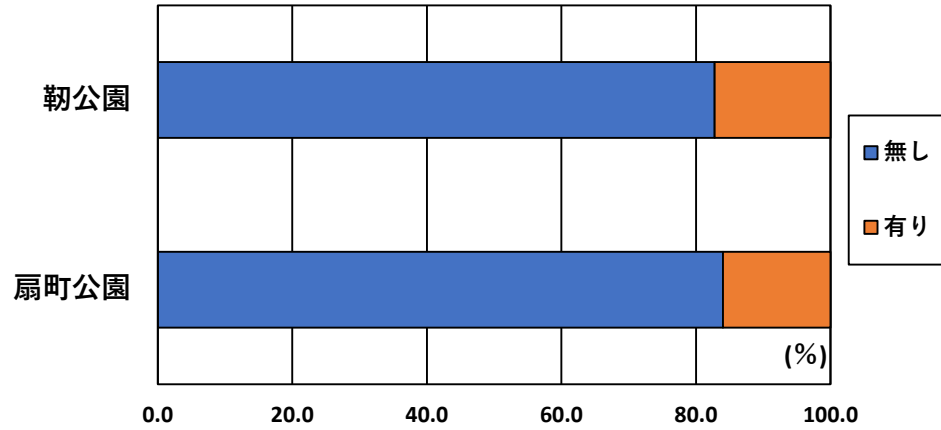
# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素（韮公園）





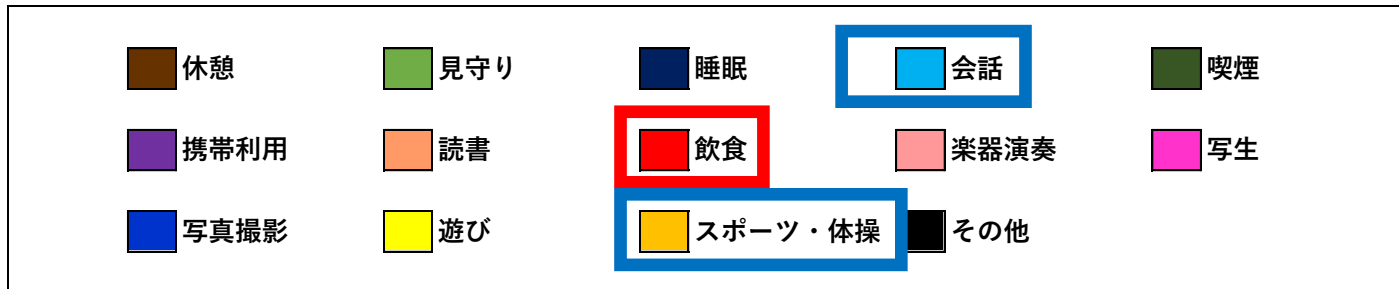
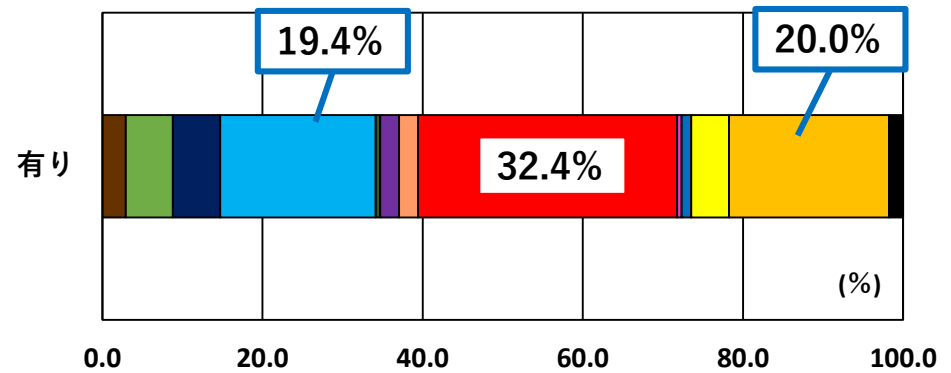
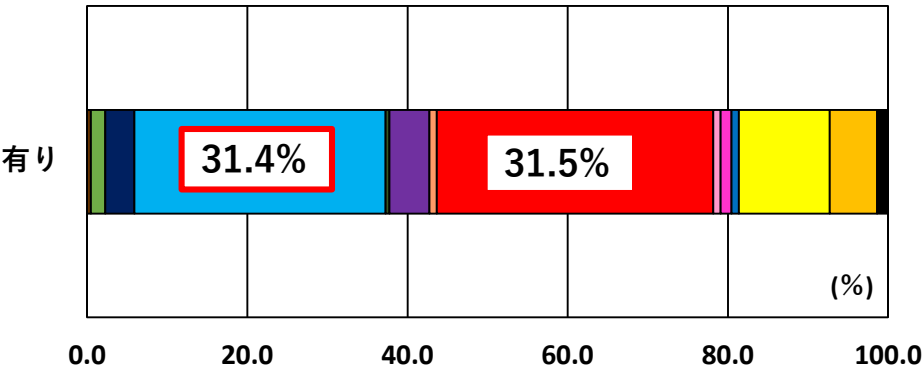
# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素と行為・行動

行為・行動を支える要素の有無



韮公園

扇町公園



# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素（扇町公園）



# 滞留利用実態：行為・行動を支える要素（扇町公園）





# まとめ：場所に着目した滞留者の空間の使い分けの特性

## ■ 園路

- ・ 休憩や読書、携帯利用といった、1人で過ごす落ち着いた空間としての役割
- ・ 広場に面した園路沿いでは複数人での会話といった広場空間とのつながりを持つ役割

移動のみに対応した一様な空間ではなく、使い分けを考慮した各々の目的に応えられるデザインが必要になる

## ■ 広場

行為・行動を支える要素の持ち込みによる会話や飲食、スポーツ・体操を支える空間としての役割

受身の居心地の良さだけでなく、空間に対して働きかける自らの「居場所づくり」のような能動的な居心地の良さも考慮したデザインが必要になる



使い分けの特性を踏まえた「使う」という人間の行動から捉えた居心地の良い空間を計画していくことが求められる